

教育委員会会議録

(臨時会)

令和5年8月3日開催

さいたま市教育委員会

1	期	日	令和5年8月3日(木)		
2	場	所	教育研究所 5階研修ホール		
3	開	会	午前9時00分		
4	出席委員		教 育 長 教育長職務代理者 委 員 委 員	竹 居 秀 子 大 谷 幸 男 石 田 有 世 武 川 行 秀	
5	欠席委員		委 員	伊 藤 華 英	
6	議場に出席した者		副教育長 管理部長 学校教育部長 生涯学習部長 学校教育部次長(選定委員長) 学校教育部参事兼指導1課長 教育総務課長 国語調査専門員長 書写調査専門員長 社会・地図調査専門員長 算数調査専門員長 理科調査専門員長 生活調査専門員長 音楽調査専門員長 図画工作調査専門員長 家庭調査専門員長 保健調査専門員長 英語調査専門員長 道徳調査専門員長	栗 原 章 浩 高 木 泰 博 野 津 吉 宏 辻 美由紀 田 中 一 秀 藤 田 昌 一 小 出 博 康 米玉利 優 子 馬 場 広 美 千 明 勉 日 比 瑞 輝 紺 野 雅 弘 白 石 徳一郎 井 上 雅 史 丹 後 雅 博 渋谷 恵 子 西 谷 健 児 中 田 清 人 中 野 緑	
7	会議録署名委員		大 谷 幸 男		

8 議事等の概要

- 竹居教育長 それでは、ただいまから教育委員会会議を開会いたします。
本日は、傍聴を希望する方は、いらっしゃいますか。
- 書記 32名いらっしゃいます。
- 竹居教育長 本日は、会議の傍聴を希望する方がいらっしゃいますが、許可して
よろしいでしょうか。
- 各委員 <異議なし>
- 竹居教育長 それでは、傍聴を許可します。
本日の会議録の署名委員は、大谷委員にお願いいたします。
- 議案第67号 令和6年度使用さいたま市立小学校用教科用図書の採択について
- 竹居教育長 それでは、議案第67号につきまして、事務局から説明をお願いします
ます。
- 指導1課長 議案書の1ページを御覧ください。
本議案は、令和6年度からさいたま市立小学校で使用する、教科用
図書の採択をお願いするものです。
教科用図書の採択については、地方教育行政の組織及び運営に関する
法律第21条第6号及び義務教育諸学校の教科用図書の無償措置
に関する法律第10条、並びにさいたま市教育委員会教育長に対する
事務選任規則第2条第3号の規定により、埼玉県教育委員会の指導助
言のもと、さいたま市教育委員会で行うことになっております。
従いまして、本日ここに教科用図書の採択をお願いするものでござ
います。
今年度、採択していただく小学校用の教科用図書は、国語、書写、
社会、地図、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、保健、英語、
道徳の13種目でございます。
各種目の採択では、始めに教科用図書調査専門員長から調査専門員
会の結果を報告、次に、教科用図書選定委員長から選定委員会の報告、
さらに、学校による調査研究の結果を事務局から報告させていただきます。
その後、審議の上、採択をお願いいたします。
以上でございます。
- 竹居教育長 これから、教科書採択の協議検討に入ります。お手元にお配りして

いる協議順の一覧のとおり進めていきたいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員 <異議なし>

国語

竹居教育長 それでは、国語の教科書について協議検討を行います。
調査専門員長からの調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長 小学校国語の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された3種32点すべてについて調査研究をいたしました。

それでは、教科書目録順に御説明いたします。まず、東京書籍です。内容については、5年214ページを御覧ください。「読むこと」や「書くこと」については、身近な生き物、環境や哲学、AIなどの近未来的な内容まで幅広く扱われております。教材の特徴をもとに、224ページのように、自分の経験や知識と結び付けながら読むことや多角的な文章の捉え方などが示され、読解力が高まるように工夫されております。続いて、5年118ページから122ページを御覧ください。冒頭部を「見通す」、展開部を「取り組む」、終末部を「振り返る」とした課題解決的な構成で示され、特に、展開部の「取り組む」では、具体例を参考に児童が主体的に学びを進められるように工夫されております。資料については、5年40ページから44ページを御覧ください。QRコードが概要の見出しとともに示され、学習と関連するコンテンツや既習を確認するなどの活用ができるように工夫されております。表記・表現については、3年上巻42ページを御覧ください。「読むこと」の単元では、見開きで挿絵や写真を掲載し、児童の興味関心を高めるとともに、学習内容やめあてがわかりやすく示されております。また、本文の文字については、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが採用され、文字指導に適するよう、手書きの硬筆文字の筆使いや字形に近い、独自の書体が使用されております。

次に、教育出版について御説明いたします。内容については、5年下巻90ページを御覧ください。「読むこと」や「書くこと」については、生き物や漫画など、児童が興味をもてる身近なものから、人の生き方や平和に関することなど、多種多様な教材が扱われております。また、100ページには、文章の構造を把握する例などが示され、筆者の意見に対する自分の考えを形成するなどの読解力が高まるよう工夫されております。続いて、166ページを御覧ください。巻末

の付録に、教材の中で学習した情報の扱い方を体系的にまとめたページが設けられています。その学年で学ぶ情報の扱いに関する内容が整理して示されているとともに、文の理解や表現のために情報をどのように扱うかが示され、実生活や他教科でも活用できるよう工夫されており、資料については、3年下巻86ページを御覧ください。読むこと「川をつなぐちえ」の説明文教材では、わかりやすい図や写真とともに、さいたま市の見沼通船堀が扱われております。表記・表現については、4年下巻48ページから55ページを御覧ください。欄外に、新出漢字の読みや言葉の意味が詳しく掲載されているとともに、筆者の経歴等の紹介も示されております。本文の文字については、見やすさ、読みやすさに配慮したオリジナルフォントが使用されております。

最後に、光村図書出版について御説明いたします。内容については、5年171ページを御覧ください。「読むこと」や「書くこと」については、児童に馴染みのあるものや生き物、昔話などから人の生き方や内面に関することまで広く扱われております。また、182ページのように、教材の特徴を生かし、文章構成や表現、言葉について着目し、自分の考えの形成につなげるなど、読解力が高まるように工夫されております。続いて、5年78ページから83ページを御覧ください。上段に学習活動、下段に学習のポイントが具体例で示され、児童が学習する際に、見やすく、参考にしやすいように工夫されております。また、単元冒頭の「問いをもとめよう」や終末の「振り返ろう」では、問いかけを用いて単元の重点を示し、児童の主体的な学びを促すように工夫されております。資料については、2年上巻92ページを御覧ください。QRコードにて、話す・聞く際のモデルが動画で示されるなど、内容に関連するコンテンツの閲覧、利用ができるように工夫されております。表記・表現については、2年上巻20ページと124ページを比べながら御覧ください。文章の表記についてでございますが、2学年の中盤から、文節ごとにわけた表記から、2・3文節をまとめた表記、通常の記事の表記へと段階的に移行するように工夫されております。本文の文字については、読みやすさ、わかりやすさを意識した、新しい教科書体を使用されております。

以上で、小学校国語の説明を終了いたします。

竹居教育長

続いて、選定委員長から報告をお願いします。

選定委員長

国語につきまして選定委員会で出された意見を報告します。資料Bの1ページを御覧ください。

教科書目録に示された3者の教科書発行者の中で、教育出版、光村

図書出版について意見が多く出されました。

教育出版につきましては、見沼通船堀など、さいたま市の題材が扱われていること、他教科につながる内容が書かれていることから、児童が学習に取り組みやすいといった意見が挙げられました。

光村図書出版につきましては、教材文の選び方がよく、外の世界とのつながりまで考えられている、学習の見通しをもつことができるように工夫されているという意見が挙げられました。

東京書籍につきましては、吹き出し等、発達段階に合わせた工夫があり、学習に取り組みやすいという意見が挙げられました。

以上でございます。

竹居教育長 続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします。

指導1課長 市立各小学校による調査研究の結果について、御説明いたします。資料C、「令和6年度使用小学校用教科用図書の学校による調査研究結果」の1ページをお開きください。

学校による推薦の結果を集約したものでございます。事務局からは、主な調査所見の概要について申し上げますので、こちらを併せて御覧いただければと存じます。

それでは、国語の主な調査所見について教科書目録順に申し上げます。2ページを御覧ください。

東京書籍、各単元の学習の流れがわかりやすい。文字の大きさや色合いが見やすいなど。

教育出版、学習の流れがわかりやすく、児童が見通しをもって学習を進めることができる。学習過程に合わせた解説があり、見通しをもちやすいなど。

光村図書出版、多くの人に親しまれている物語文が取り扱われていてよい。単元の見通し、振り返りの視点が明示され、学習ガイドとして活用しやすいなど。

以上でございます。

竹居教育長 それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

石田委員 今年の教科書にはQRコードがたくさん掲載されていますが、各者で違いはあるのでしょうか。

調査専門員長 QRコードの内容については、各者で話し方や発表の仕方のモデル動画を掲載しており、大きな違いはないとの報告を受けております。

大谷委員 教科書の分冊について、どのような議論がなされたかお聞かせください。

調査専門員長 合冊、分冊については調査専門員会でも話題となりました。東京書籍と光村図書出版が高学年で合冊、教育出版が分冊としています。合冊の良さとしては、1年間の学びを見通して学習できる点、振り返りの際に確認しやすいという点があります。分冊の良さとしては、軽さが挙げられ、児童の持ち運びの負担少なく扱いがしやすい点、文字や資料の大きさを小さくしなくてよいという点があります。また、分冊でも目次に上下巻の内容が示されており、見通しが持てるよう工夫されております。

武川委員 どの教科書も感心しながら見せていただきました。見沼のことを扱う教育出版も素晴らしいですし、東京書籍も写真がすばらしく、子どもたちのイメージに残るインパクトがあると感じました。各者とも良く考えられていると感じます。

大谷委員 難しい言葉や単語について、欄外で丁寧に説明されていることが望ましいと考えます。言葉一つ一つを大事に扱うことが重要であり、そのような観点からどのように評価されているかお聞かせください。

調査専門員長 3者ともに大変丁寧に扱われていると考えております。また、見やすさ読みやすさに配慮し、大切な情報も掲載されているとの報告を受けております。

石田委員 戦争を題材にした資料として「一つの花」という作品が各者掲載されておりまして、加えて光村図書出版は「たずねびと」と「平和のとりでを築く」、東京書籍は「ヒロシマのうた」など、教育出版も「川とノリオ」など、今まで以上に詳しく掲載されています。

教育出版では「たしかめよう」「くわしく読もう」「まとめよう」「伝え合おう」とあり、最後にここが大事とまとまっていて振り返ることができるのでとてもよいと思います。また、SDGsについて、教育出版は单元ごとにまとめてあり非常によいと思いますが、他者ではどのようなになっていますでしょうか。

調査専門員長 SDGsは3者それぞれ扱っておりますが、目次に記載があるのは教育出版のみでございます。

大谷委員 目次に記載がある点は評価したいと思います。

竹居教育長 教育界では、授業の在り方として、児童・生徒がより主体的に学ぶことへの転換が求められています。児童が見通しを持って主体的に学ぶという点で、教育出版と光村図書出版は工夫されていると思いますが、単元を通して明確になっているかという点についてはどうでしょうか。

調査専門員長 主体的、対話的で深い学びが大切になっており、おっしゃる通り、3者ともその点については大変重要に扱っております。

大谷委員 目次にアイコンが掲載されている点、分冊されていて余裕のある内容収録ができるのではないかという点、さいたま市と関連のある題材も取り上げられているという点、それから子どもたちが見通しを持って主体的な学ぶという点で、それぞれ工夫されていて甲乙つけがたいのですが、総合的に考えまして国語については教育出版を推したいと思います。

竹居教育長 他に、御意見がなければ、これで協議は終了し、採決に移りたいと思います。ただいまの委員の皆様御意見では、教育出版がさいたま市と関連のある題材があること、SDGsとの関連があること、児童の興味関心に基づく教材であること、児童の持ち運びの負担少なく扱いがしやすいこと、このような点から優れているとの御意見がありましたので、教育出版株式会社を採択するというところで御異議はありませんか。

各委員 <異議なし>

竹居教育長 それでは、国語は、教育出版株式会社を採択することとします。

書写

竹居教育長 続きまして、書写の教科書について協議検討を行います。調査専門員長からの調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長 書写の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された3種18点すべてについて調査研究をいたしました。教科書目録順に御説明いたします。まず、東京書籍です。内容につ

いては、5年の33ページを御覧ください。5年で学習したポイントが「書写のかぎ」として示されており、「書写のかぎ」を生かして一年間の学習のまとめができるように構成されております。また、32ページの「文字といっしょに」では、枕草子の一節を書く活動があり、日本の古典などの文字文化に関わる内容が示されております。資料については、2年の6ページを御覧ください。左利きの鉛筆の持ち方、構え方が右利きと同様に写真で大きく示されており、左利きの児童も学びやすいように配慮されております。また、姿勢や運筆等を動画で確認することができるように、QRコードが添付されております。表記・表現については、1年の30ページを御覧ください。学習のポイント等が全学年統一されたキャラクターによるアドバイス形式で説明され、児童が学習に親しめるように工夫されております。また、とめ、はらい、はねが動物の動きに見立てたイラストで説明されております。

次に、教育出版について御説明いたします。内容については、6年の10ページを御覧ください。「学習の始めと終わりに書こう」で、「ためし書き」と「まとめ書き」をすることで、学習前後の硬筆の文字の変容を児童自身が捉えられるように工夫されております。また、11ページの「レッツ・トライ」においては、書く速さを意識した話し合いメモの書き方が例示され、書写で身に付けた力が日常生活や各教科でどのように生かせるかが示されております。資料については、3年の5ページを御覧ください。「学習の進め方」で児童が実際に活動している写真を示すことで、自分で課題を解決していくための学習の見通しをもてるように工夫されております。また、学習の進め方を確認することができるように、QRコードが添付されております。表記・表現については、1年の30ページを御覧ください。運筆を「すうっ」「ぴたっ」等の共通の音声で表し、運筆のリズムを体感しながら学習できるように工夫されております。また、1、2年では「めあて」と「ふりかえろう」がりんごのマークで表記され、対応させて自己評価ができるように示されております。

最後に、光村図書出版について御説明いたします。内容については、5年の10ページを御覧ください。「学習の進め方」として「考えよう」「たしかめよう」「生かそう」の学習過程が明記され、児童が主体的に、見通しをもって学習に取り組めるように構成されております。また、11ページの「書写広げたい」では、インタビューメモの書き方が例示され、日常生活や各教科における具体的な活用の仕方が、学年や学習内容に応じて示されております。資料については、3年の2ページを御覧ください。「毛筆スタートブック」において、毛筆の秘密や毛筆の特徴が示され、文字を書くことへの興味・関心を高めるよ

うな工夫がされております。また、3年の65ページを御覧ください。「この本を作った人からのメッセージ」や「先生・保護者の方へ」において、書写の学習で大切にしてほしいことが示されております。著作者のメッセージについては、QRコードで動画を見ることが出来ます。表記・表現については、2年の14ページを御覧ください。猫のキャラクターの動きをヒントにして、直感的に筆使いがわかるように工夫されております。また、学習のポイントが「たいせつ」として示され、「何を学ぶのか」が一目でわかるように構成されております。

以上で、小学校書写の説明を終了いたします。

竹居教育長

続いて、選定委員長から報告をお願いします。

選定委員長

書写につきまして選定委員会で出された意見を報告します。資料Bの1ページを御覧ください。

教科書目録に示された3者の教科書発行者の中で、教育出版、光村図書出版について意見が多く出されました。

教育出版につきましては、色の濃淡が表現された筆遣いがわかりやすい、身に付けた資質・能力を実生活に生かすという内容が魅力的であるといった意見が挙げられました。

光村図書出版につきましては、身に付けたことをどのように生かすのか触れられていること、学習の進め方がわかりやすく明記されていることがよい点として挙げられました。

東京書籍につきましては、左利きの写真が右利きと同様に大きく掲載され、多様性への配慮が特徴的であるという意見が挙げられました。

以上でございます。

竹居教育長

続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします。

指導1課長

市立各小学校による、書写の主な調査所見について教科書目録順に申し上げます。資料Cの4ページを御覧ください。

東京書籍、毛筆の基本的な学習内容を身に付けることができる構成でよい。筆の動きが写真やイラストで示され、穂先の向きや筆圧の加減がわかりやすいなど。

教育出版、手本とポイントが、見開きページで確認しやすい。字形や穂先の使い方がわかりやすいなど。

光村図書出版、スモールステップで学習のねらいが示されていて、わかりやすい。QRコードで右利き、左利き両方の動画あってわかり

やすいなど。
以上でございます。

竹居教育長 それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

石田委員 東京書籍1年生4ページでは右手と左手の鉛筆の持ち方が出ています。私の年代ですと左利きでも右手で持つよう教えられていたのですが、今は左利きでも写真で説明されていて感心しました。また、ひらがなだと「つり」、漢字では「道」について3者調べてみたのですが、「道」では圧倒的に教育出版が詳しく書かれていました。中と外の組み立て、穂先の動き、しんじょうの使い方では筆圧を加えていくなどありました。東京書籍では詳しくは書かれていませんでした。ひらがなの「つり」に関してまがりやはらいなど詳しく書かれていて、一番わかりやすいのは教育出版だと思いました。

大谷委員 専門員長にお尋ねします。先程非常によいと思ったのは、硬筆だと思うのですが枕草子をお手本にされているということ。こうした機会に日本の古典、伝統的な文化に子どもたちが接することは大事だと思っております。他者の取り扱いについても確認できますでしょうか。

調査専門員長 日本の伝統文化に関連した内容については、各者とも取り扱いがございます。俳句や文字の歴史など、様々な観点から文字文化に触れることで文字への興味関心を高める工夫がされております。

東京書籍では「文字といっしょに」で文字文化に様々な観点から触れ、児童の学ぶ意欲を高める工夫がされております。教育出版では「知りたい文字の世界」において、筆のつくり方やひらがなの起源などを扱い、文字への興味関心を高める工夫がされております。光村図書では3年52ページで「全国 紙・筆・すみ・すずりマップ」を設け、伝統工芸・文化を大切に作る心情を育てられるよう工夫がされております。

武川委員 どの教科書を見ても素晴らしく、文字を大事にする教育がされていることに感心しています。いろいろと小学校を見せていただいて、先生が黒板に書く文字が素晴らしくて、そのもとになるのが書写なのだと納得しました。各者様々な形でアプローチし、より良くしようとしているのが感動的で、選べないくらいどの教科書も素晴らしいと思います。

大谷委員 左利きへの配慮などもよくわかりましたし、いずれも甲乙つけがた

いと思います。そうした中で私がよいと思ったのは、教育出版の「ためし書き」と「まとめ書き」です。学習の前後に自分自身の変容を確認できる。先程、教育長がおっしゃられたように、学習はただ教えるのではなく主体的に課題に向き合いどのように解決するか、主体的な学びこそ根幹になるというのは同感です。課題を解決していく姿を見せるという点で、教育出版の学習の進め方が活動写真とともに明記されているという点で一步進んでいるのかなと。私は教育出版でよろしいかなと思います。

石田委員 学校を訪問すると硬筆や毛筆が掲示されていますが、すごく立派で感心しています。さいたま市の子は字が上手で、先生がしっかり教えていると感じます。

竹居教育長 他に、御意見がなければ、これで協議は終了にいたしまして、採決に移りたいと思います。ただいまの委員の皆様の御意見では、児童が学習を進めやすい工夫がなされているとして、教育出版株式会社を推す意見でございましたので、教育出版株式会社を採択するという事で御異議はありませんか。

各委員 <異議なし>

竹居教育長 それでは、書写は、教育出版株式会社を採択することとします。

社会

竹居教育長 続きまして、社会の教科書について協議検討を行います。調査専門員長からの調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長 小学校社会の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された3種14点すべてについて調査研究をいたしました。

教科書目録順に御説明いたします。まず、東京書籍です。内容については、5年生上巻46、47ページを御覧ください。左の「まなび方コーナー」では資料を読み取る視点などが紹介され、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けられるように工夫されております。右下の「まとめる」ではキーワードを活用したまとめ方などが紹介され、複数のキャラクターが気付いたことを言う記載によって、社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力を養うことができるように工夫されております。また、4年生88、89ページを御覧ください。単元末に設定される「いかす」では、学習してきたことを生か

して、自分たちにできることを考える場面が設定されており、自ら見
いだした問題の解決を目指すことができるように配慮されております。
資料については、6年生政治・国際編36、37ページ以降を御
覧ください。「子育て支援の願いを実現する政治」として、さいたま
市が事例地として取り上げられており、さいたま市の児童にとっても
身近な公共施設と政治の働きを結び付けながら学習を進められます。
また、6年歴史編49ページを御覧ください。資料と本文が明確に区
別され、見やすさに配慮された構成になっております。表記・表現に
ついては、3年生90、91ページを御覧ください。キャラクターの
台詞によって、社会的事象の見方・考え方を働かせる際の視点などが
示されております。また、各ページに「つかむ」「調べる」「まとめる」
「いかす」のいずれかの表記があり、学習過程を明示するとともに問
題解決的な学習を進められるように工夫されております。

次に、教育出版について御説明いたします。内容については、3年
生2、3ページを御覧ください。タブレットの利用方法として「イン
ターネットでけんさくする」「写真や動画に記録する」「意見を共有す
る」などの具体的な方法が紹介され、情報を適切に調べまとめる技能
を身に付ける力を養うことができるように工夫されております。ま
た、5年生118、119ページを御覧ください。左下の「学びのて
びき」では、学習のまとめ方などが明示されていて、考えたことや選
択・判断したことを適切に表現する力を養えるように工夫されてお
ります。単元末に設定された「まとめる」では、思考ツールの活用場
面が提示されており、学習を振り返ってまとめたり、新たな問いを見
いだしたりすることができるように配慮されております。資料につ
いては、4年生130、131ページ以降を御覧ください。「昔から今へ
と続くまちづくり」として、見沼通船堀、見沼代用水、井沢弥惣兵衛
が事例として取り上げられており、さいたま市の児童にとっても身
近な史跡や偉人と県内の伝統や先人の働きを結び付けながら学習を
進められます。また、6年生204、205ページを御覧ください。一
部の写真資料がAIによって着色され、当時をイメージしやすくなる
よう工夫されております。表記・表現については、6年生96、97
ページを御覧ください。キャラクターの吹き出しに資料の読み取りや
思考を深めるための視点が盛り込まれて記載されております。また、
各ページに「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」のいずれ
かの表記があり、学習過程を明示するとともに問題解決的な学習を
進められるよう工夫されております。

最後に、日本文教出版について御説明いたします。内容については、
6年生230、231ページを御覧ください。「未来につなげる～わ
たしたちのSDGs～」 「考えよう！わたしたちのSDGs」コーナ

一が設定され、社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うための工夫が見られるとともに、多角的な思考や理解を通して、世界の国々の人々とともに生きていくことの大切さについての自覚などを養うことができるように工夫されております。また、3年生110、111ページを御覧ください。左側の「学び方・調べ方コーナー」では、「深め合い」の仕方などが提示されており、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養うことができるように工夫されております。資料については、5年生258、259ページを御覧ください。「考えよう！SDGs」コーナーにおいて狭山丘陵が事例地として取り上げられており、さいたま市の児童にとっても身近な自然と環境保全を結び付けながら学習を進められます。また、SDGsについて、学習とかかわりのあるゴールが随所に記載されていたり、各地の取り組みが取り上げられていたり、社会の動きに目を向けるように配慮されております。表記・表現については、4年生147ページを御覧ください。「どのようにうつり変わってきたのか」に着目させるため「時間」の経過という視点が「見方・考え方」の一つとして示されております。また、各ページに「問題を発見する力を身につけよう」「問題を追究・解決する力を身につけよう」「問題をほりさげ、よりよい未来をつくる力を身につけよう」のいずれかの表記があり、学習過程を明示するとともに問題解決的な学習を進められるように工夫されております。

以上で、小学校社会の説明を終了いたします。

竹居教育長

続いて、選定委員長から報告をお願いします。

選定委員長

社会につきまして選定委員会で出された意見を報告します。資料Bの2ページを御覧ください。

教科書目録に示された3者の教科書発行者の中で、東京書籍、教育出版について意見が多く出されました。

東京書籍につきましては、さいたま市の事例が扱われていること、グラフ等の資料が見やすいこと等の意見が挙げられました。

教育出版につきましては、さいたま市の事例が扱われていること、白黒の写真をAIによって着色したものがあるなど、子どもたちにとってインパクトがある資料が多いこと等がよい点として挙げられました。

日本文教出版につきましては、SDGsについての取組が随所に取り上げられており、さいたま市の施策と関連が深いという意見が挙げられました。

以上でございます。

竹居教育長 続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします。
す。

指導1課長 市立各小学校による、社会の主な調査所見について教科書目録順に
申し上げます。資料Cの5ページを御覧ください。

東京書籍、資料が多く見やすい。上巻と下巻にわかれていて扱いや
すいなど。

教育出版、資料が詳しく、見やすい。活動の流れがわかりやすく明
記されているなど。

日本文教出版、写真等、資料が多く見やすい。資料が大きくわかり
やすいなど。

以上でございます。

竹居教育長 それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

石田委員 東京書籍のみ分冊で歴史編を作成していますが、分冊にする理由を
伺えますでしょうか。

調査専門員長 分冊につきましては、重さなどに配慮してのものと考えておりま
す。

武川委員 社会科が最もSDGsに近いと思いますので、様々な形で扱って
いただくとわかりやすいのではないかと思います。大人でもよくわから
ないところがありますので、どのようにして地球を良くしていくの
か、子どもたちが身のまわりのことから考えていくことを社会科が担
っていくことが大事なのではないかと感じました。

竹居教育長 SDGsについて発言がありましたので、SDGsに関連して各教
科書の優れている点を説明いただけますでしょうか。

調査専門員長 SDGsについては社会科で学習する内容と関連性が非常に高い
と考えており、各者関連付けながら扱っております。特に日本文教出
版では取り扱いページが多く、充実しているとの報告を受けておりま
す。

石田委員 教育出版3年162ページにSDGsについて考えようとしてあり、わ
かりやすくまとまっていると思います。

それから、国は子育て支援を重点項目としています。子育て支援で

見ますと、東京書籍にはさいたま市のあいぱれっとも掲載されていますが、非常に活躍しておりますけれど2ページしか記載されていない。教育出版では子育て支援について4ページかけて国の施策など詳しく記載しています。

加えて、教育出版には見沼通船堀についてもたくさん記載されています。

大谷委員

さいたま市の子どもたちには一人一台端末が配備されていますが、社会科では動画や写真などを生き生きと、目の当たりに資料提供できることが重要ではないかと考えております。そういった意味で、インターネットで検索する写真や動画を教科書からどのように導いていくのか、一人一台端末をより意識している教科書についてお聞かせください。

調査専門員長

各者ともQRコードを活用しながら、子どもたちの学びを促すような記載が充実していると調査研究をさせていただきました。

竹居教育長

関連してなのですが、タブレットの利用方法が教育出版ではしっかりと書かれていたと思いますが、他者はいかがでしょうか。

調査専門員長

各者とも取り扱っておりますが、御指摘のとおり、教育出版は3年の冒頭でタブレット端末にフォーカスした内容としております。

竹居教育長

他に、御意見がなければ、これで協議は終了にいたしまして、採決に移りたいと思います。ただいまの委員の皆様の御意見では、教育出版がさいたま市との結びつきや子育てという現代課題への教材が充実している、一人一台端末の使い方を具体的に示している、このような点から優れているとの意見でございましたので、教育出版株式会社を採択するということが御異議はありませんか。

各委員

<異議なし>

竹居教育長

それでは、社会は、教育出版株式会社を採択することとします。ここで10時15分までの休憩といたします。

地図

竹居教育長

それでは再開します。続きまして、地図の教科書について協議検討を行います。

調査専門員長からの調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長

小学校地図の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された2種2点すべてについて調査研究をいたしました。

教科書目録順に御説明いたします。まず、東京書籍です。内容については、9、10ページ以降を御覧ください。地図の使い方や地図帳のきまりがキャラクターによってストーリー仕立てで説明され、まるでマンガを読んでいるような構成になっているため、3年生から地図帳を身近に感じられるように工夫されております。資料については、77、78ページ以降を御覧ください。「日本の歴史」という特集ページが設けられており、地図を効果的に活用して、位置や空間的な広がりに着目して社会的事象を捉える見方・考え方を養うことができるように配慮されております。表記・表現については、43、44ページを御覧ください。思考を促す「ホップ・ステップ・マップでジャンプ」というクイズによって、興味・関心をもって地図学習に取り組むための配慮がなされています。

次に、帝国書院について御説明いたします。内容については、11、12ページ以降を御覧ください。方位や地図記号などの「地図のやくそく」のページ、索引や縮尺などの「地図帳の使い方」のページが設置されており、地図帳を活用できる知識や技能を身に付けることができるように工夫されております。また、続けて3年生向けの要素を精選した地図も掲載され、初めて地図にふれる児童がスムーズに地図帳を使えるよう配慮されております。資料については、99、100ページ以降を御覧ください。自然災害などの日本の国土についての理解を深めたり、地域の産業や伝統文化に親しんだりするような、主体的に地図学習に取り組みたくする資料が充実しております。表記・表現については、65、66ページを御覧ください。楽しく地図を活用するための「地図マスターへの道」というクイズによって、興味・関心をもって地図学習に取り組むための配慮がなされております。

以上で、小学校地図の説明を終了いたします。

竹居教育長

続いて、選定委員長から報告をお願いします。

選定委員長

地図につきまして選定委員会で出された意見を報告します。資料Bの2ページを御覧ください。教科書目録に示された2者の教科書発行者の中で、帝国書院について意見が多く出されました。

帝国書院につきましては、統計資料等の資料が豊富で内容も見やすい、地図記号について絵も補足されていてわかりやすい等の意見が挙げられました。

東京書籍につきましては、色味が抑えられた資料が見やすい、資料の解説が詳細まで記載されていてわかりやすいという意見が挙げられました。

以上でございます。

竹居教育長 続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします。

指導1課長 市立各小学校による、地図の主な調査所見について教科書目録順に申し上げます。資料Cの6ページを御覧ください。

東京書籍、身近なキャラクターが登場していて親しみやすい。資料の活用方法がわかりやすい。資料が豊富でよいなど。

帝国書院、色の構成がはっきりしていて見やすい。各ページの情報量が多く、種類ごとにまとまっていて活用しやすい。地図や文字、地図記号などが大きくて見やすいなど。

以上でございます。

竹居教育長 それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

石田委員 2つの教科書を比べたところ、見やすいのは圧倒的に帝国書院です。関東地方を見るとさいたま市も詳しく見やすい。残念なのは、東京書籍には日本全土の地図が掲載されているのですが、帝国書院は関東地方の部分しか掲載されていないことです。旅行に行く際、目的地までを地図を見るのですが帝国書院だと良くわからない。これが唯一残念な点です。是非、全国地図を載せて欲しいと思います。また、日本の領土について、帝国書院では円形で表示されており非常にわかりやすい。東京書籍は折れ線で表示されており、詳しいのかもしれませんが、小学生からすると帝国書院がわかりやすいと思います。この点についてはいかがでしょうか。

調査専門員長 領土の扱いにつきましては、両者とも適切に表記、表現されていると調査いたしました。

見やすさという点では一長一短あると思いますが、領土の点では帝国書院の方が見やすいと調査いたしました。

大谷委員 地図を比べてみて、色使いなどどちらが見やすいかというと、帝国書院の方が見やすい、見ているとよいなと思います。入りやすい、とっつきやすいというのは子どもたちにとって大事かと思いますので、私は帝国書院がよいと思います。

武川委員 両者とも歴史地図を扱っており、東京書籍では世界の歴史地図、帝国書院では江戸時代の地図が掲載されています。両方とも好きなので、両者に両方の地図も入れて欲しかったのですが、まずは江戸からなのかなという感じがしますので、小学生の地図帳としては帝国書院がよいと考えます。

竹居教育長 他に、御意見がなければ、これで協議は終了にいたしまして、採決に移りたいと思います。ただいまの委員の皆様の御意見では、帝国書院の方が地図表現の工夫がされていて見やすいという点、資料が精選されている点、このような点から優れているとの御意見がありましたので、株式会社帝国書院を採択するという事で御異議はありませんか。

各委員 <異議なし>

竹居教育長 それでは、地図は、株式会社帝国書院を採択することとします。

算数

竹居教育長 続きます、算数の教科書について協議検討を行います。調査専門員長からの調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長 小学校算数の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された6種59点すべてについて、調査研究をいたしました。

それでは、教科書目録順に御説明いたします。まず、東京書籍です。内容については、2年生上の8、9ページを御覧ください。この2ページで子どもたちがつぶやいている吹き出しを追っていただくとおわかりのように、どの学年でも児童の自然な思考の流れに沿った導入を行っています。また、2年生上23ページを御覧ください。なぜ間違っているのか、なぜ正しいのかの根拠を問うなどして、各単元で大切にしたい「数学的な見方・考え方」について6年間を通して、数学的な考え方や数学的な表現の特徴を明記しています。ページをめくって右下、左下を見ていただくとおわかりになりますが、練習問題やデジタルコンテンツのQRコードがほぼ全ページに記載されており、個に応じた指導ができるようになっております。資料については、1年生①1ページを御覧ください。幼稚園等の写真を使用するなど、幼児期に培った数量の感覚や興味・関心をもてるようにし、スタートカリキュラムに配慮しています。また、1年生の①はイラストや数字を記

入するスペースを広くとっており、教科書がノートの役割を担うとともに、数ブロックなどの操作が紙面上でしやすくなっています。表記・表現については、4年生上94ページを御覧ください。単元の導入の場面が教科書の見開きで記載されており、左のページが既習の確認、右のページが導入に全単元統一し、考え方は次のページにすることで、児童が思考しやすい流れになっております。

次に、大日本図書です。1年生以外の学年が1冊の合本で構成されております。内容については、4学年36ページから41ページを御覧ください。子どもの発言や先生の発問を吹き出しで記載しており、つけたしや友達の考えを説明するなど、協働的な学びができるように工夫をしております。資料については、6年生11ページを開いて御覧ください。全学年で算数の大切な考え方を「ひらめきアイテム」として記載しており、関連する内容のページ、例えば6年生36ページの下にあるように、鍵のマークとアイテムの名前を付け、その学習に合った考え方をすることができるようにしております。表記・表現については、1年生1の22、23ページを御覧ください。キャラクターに様々な人種の方や障害がある方、他のページには妊婦なども扱っており、多様性を意識し、人権教育にも配慮しております。

次に学校図書です。全ての学年で、冊子の大きさがAB版となっております。内容については、6年生9ページを御覧ください。算数の授業において考えるポイントを「考え方モンスター」として設定し、どのように思考するといいのかを子どもたちが楽しく探せる工夫がされています。資料については、小学校の算数と中学校の数学との接続が図れるよう「中学校へのかげ橋」が別冊になっており、算数のまとめと中学校への発展について取り上げています。別冊をめくって右側を見ていただくとわかりますが、「考え方モンスター」ごとにまとめられており、どのような考え方をすることが大切かが確認できるようになっています。また、1年生下80、81ページを御覧ください。1年生から6年生までプログラミング的思考を身に付けるための工夫がされています。表記・表現については、4年生上26から31ページを御覧ください。AB版の幅の広さを生かして、書き込みがしやすいように図や表、グラフなどを大きく記載しております。また、各ページの左側に1時間の区切りや何を学習しているのかが記されており、学習の流れがわかりやすくなっております。

次に、教育出版について御説明いたします。内容については、4年生上76ページから78ページを御覧ください。「はてな?」「だったら!?!」「なるほど!」の表記で思考する過程が記載されています。4年生上81ページ「つながるミカタ」では、まとめを受けての新たな問いが記載されているため、学びが途切れることなく学習をするこ

とができるようにしています。資料については、6年生271ページからを御覧ください。「まなびの手引き」として、下の学年の重要な技能や、276ページには前学年とのつながりが巻末に掲載しております。また、277ページからは、学習内容が端的に整理されていて、学習内容の定着や本学年とのつながりが意識されています。表記・表現については、3年生上106ページを御覧ください。単元のまとめでは、4コマ漫画で学習内容を楽しく振り返り、定着を図れるよう工夫されています。また、3年生上101ページを御覧ください。下の方に「よくあるまちがい」など、つまずきに対する手立ても講じています。

次に、新興出版社啓林館です。内容については、5年生14、15ページを御覧ください。単元末に「学びのまとめ」として、たしかめよう、ふりかえろう、やってみようの流れで、本時の学習と数学的な見方・考え方を確認するとともに、発展的に考えられるようになっております。資料については、6年生230ページからを御覧ください。

「未来へのとびら」として社会で活躍する4名をピックアップし、現在の職業に算数がどのように活用されているかを掲載しており、算数を学習する動機付けや、キャリア教育にもつなげております。また、各単元にある解説動画のQRコードは授業形式のコンテンツになっており、家庭等で一人で学習することも可能です。表記・表現については、4年生上106、107ページを御覧ください。疑問、めあて、考えるポイント、まとめなどを芽、つぼみ、花で表現し、問題と練習問題の番号を通し番号にしているため、学習の流れがわかりやすくなっております。

最後に、日本文教出版です。内容については、5年生23ページからを御覧ください。「自分でみんなで」のページでは、問題解決の学習過程を各ページに明示し、教科書内の児童が各々の考え方を吹き出しで明記しており、子どもが主体的・対話的に学習を進めるための道筋が明確になっています。また、「めあて」と「まとめ」が赤い下線や囲みで明確になっています。プログラミング学習は、2年生下104、105ページを御覧ください。各学年に「レッツプログラミング」として設定し、プログラミング的思考を身に付けるための工夫が見られます。資料については、4年生上の巻末を御覧ください。2年生以上の巻末についている「算数で使いたい見方・考え方」が切り離して確認できるようになっています。下敷きにもできそうな紙を使用しており、学習に活かせるように工夫されています。QRコードの上に「見る」「動かす」などが書いてあり、使いやすい配慮がされています。表記・表現については、6年生87ページにあるように、中学校の学習に関係している単元の見出しにマークが付いており、小中一貫を意

識しています。

以上で、小学校算数科の説明を終了いたします。

竹居教育長

続いて、選定委員長から報告をお願いします。

選定委員長

算数につきまして選定委員会が出された意見を報告します。資料Bの3ページを御覧ください。

教科書目録に示された6者の教科書発行者の中で、東京書籍について意見が多く出されました。

東京書籍につきましては、小学校入学期に配慮されたつくりがよい、児童の思考に寄り添った学習の流れになっていてわかりやすい等の意見が挙げられました。

大日本図書につきましては、多様性に配慮されたキャラクターが取り上げられていること、学校図書につきましては、AB版の幅を生かして「図の活用」などの内容が多く取り上げられていること、教育出版につきましては、「よくある間違い」について取り上げており、理解に時間を要する児童に配慮された扱いが充実していること、新興出版社啓林館につきましては、中学校への接続やキャリア教育につながる内容が詳しく扱われていること、日本文教出版につきましては、「自分で」「みんなで」といった学習の流れが、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた配慮となっていることが、それぞれよい点として挙げられました。

以上でございます。

竹居教育長

続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします。

指導1課長

市立各小学校による、算数の主な調査所見について教科書目録順に申し上げます。資料Cの7ページを御覧ください。

東京書籍、問題、課題、まとめの流れがわかりやすい。QRコードが多く、学びの振り返りや動画による知識の理解ができてよいなど。

大日本図書、ユニバーサルデザインフォントで読みやすい。実生活に結び付いた挿絵が多く、児童がイメージしやすいなど。

学校図書、身近な題材が問題文に取り入れられていて、わかりやすい。6年生「中学校へのかけ橋」の別冊があってよいなど。

教育出版、例題が身近で捉えやすい。1時間の授業の流れがわかりやすいなど。

新興出版社啓林館、課題からめあてまでの流れがわかりやすい。発展的な内容があってよいなど。

日本文教出版、プログラミングの内容が全学年に入っていてよい。導入の絵が、児童の生活経験と結び付いていてわかりやすいなど。以上でございます。

竹居教育長 それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

大谷委員 お尋ねします。中学校への接続は大事なことだと考えております。学校図書では「中学校へのかけ橋」として別冊が作られており際立っているのですが、他者では別冊にしないまでも配慮がなされているのでしょうか。

もうひとつは新興出版社啓林館の「やってみよう」という、発展的に前に出ようというところが非常によいと思います。振り返りも大切ですが、更に前に出てやってみようという点について、他者の状況はどのようになっているか、わかる範囲で結構ですでお聞かせください。

調査専門員長 中学校との接続についてお話しします。学校図書については別冊で示されておりますが、各者とも巻末に中学校への接続を意識したページがございます。東京書籍であれば6年生220ページに算数卒業旅行というところで中学校体験入学コースというのがあります、中学校の学習を先取りして学ぶ工夫がされております。大日本図書では5年生でも中学校でこのようなことを学ぶのだと意識させる工夫がございます。教育出版では6年生232ページで数学への扉がございます。新興出版社啓林館でも大日本図書と同じように、5年生から中学に関連する単元の見出しにマークを付ける配慮がされております。日本文教出版では6年生87ページ、中学校への学習に関連する単元の見出しにマークをつけており、各者、中学校への接続を意識したページがございます。

「次にむけてやってみよう」に関しては、学力で重要視されている学びに向かう力、人間性等が重要視されている、その点で新興出版社啓林館の「未来への扉」等の次にむけてという部分は非常に重要なものだと私どもの調査でも報告しております。こちらも日常につなげたり、発展的に考えたりする工夫が各者がございます。東京書籍5年生上の2ページ、大谷選手を題材にしているのですが、私と算数というページで著名人と算数のつながりで算数の学習を次にむけてというのがあります。大日本図書では算数の玉手箱、学校図書ではなるほど算数、教育出版では自分で問いを見つける力を育んだり、日本文教出版では使ってみよう算数ジャンプなど、各者そのようなコーナーを設けております。

大谷委員 もう1点よろしいでしょうか。QRコードを各者それぞれ活用されていると思うのですが、専門の立場から見て差異はあるのでしょうか。

調査専門員長 QRコードにつきましては、復習問題やデジタルの活用、アニメーションなど各者工夫がございます。特徴的なものとしましては、新興出版社啓林館の4年生下3ページ、マークと言葉でQRコードの役割が書かれております。解説動画を読み取ると、音声と板書により授業形式で進める形となっており、教師は問題解決の学習課程をつくるうえで、児童は個別最適な学びの手助けとして非常に役立つものと捉えております。また、東京書籍は学年が上がるごとにQRコードの数が増えていくという特徴がございます。6年生はほぼ全ページにQRコードがあり、読み取るとその問題だけ出てくるため、児童にとって使いやすいものと捉えております。

石田委員 6年生までは算数で中学からは数学になるのですが、文字と式ということでXが出てくるのですね。各教科書を比べてみますと、学校図書が一番わかりやすく書かれていると思います。算数から数学になる時にここでつまづいてしまうので一番重要だと思うのですが、調査専門員から見ていかがでしょうか。

調査専門員長 御指摘のとおり、文字と式は中学でのつまづきが多いととらえております。実際に文字が出てくるのは6年生なので、丁寧に取り組んでいる学校図書などもございますが、前段として3年生から文字と式の導入が始まっております。文字を□(四角)で表すのですが、3年生の教科書を横並びで見た時に、各者図と□(四角)を対応させるというような取組がなされております。東京書籍3年生下60ページを御覧いただきますと、文と図と文字を結び付けており、この□(四角)が6年生になって文字、中学校になって文字と式、方程式につながっていくという形になりますので、各者このような取組をしております。

石田委員 東京書籍の巻末に「新しい算数プラス」があります。補充問題と「おもしろ問題チャレンジ」というのがありよいと思のですが、他の教科書にもありますか。

調査専門員長 東京書籍を例示していただきましたが、各者、巻末の習熟については工夫を凝らしており、段階を追って示しております。大日本図書5年生132ページ、単元末ですが、確かめ問題もしっかりチェックと

いう形で段階を追って出されております。また、これも各者あるのですが、網かけしている番号と網かけしていない番号があります。このように先生が問題数、習熟の度合によって選べるような工夫が各者なされております。

武川委員

算数は文章で考えなければならないとか、証明をしていかなければいけないということで文字が関係ないとは思わないのですけれど、なんだか文字が多いなと感じます。いろいろなことをやりながら覚えていくのは大事だと思うのですが、算数が好きな子は数字が好きなことが多くて、数字が動いていくことがすごく好きなはずなのに、何か国語的に算数をやっているイメージがあります。全体的に教科書がそうなっていますので仕方ないのかもしれないですが、そのあたりはいかがでしょうか。

調査専門員長

確かに算数の問題を資料や数だけで示すところもあるのですが、文章を読み取り、そこから算数を見出していくというような問題を求められている現状もございます。各者工夫を凝らしており、新興出版社啓林館2年生6ページに「みんなではなし合おう」というコーナーがあるのですが、算数に使う言葉が載っていて国語力も育んでいくという、言葉と算数を同時並行でやっていくという工夫がみられる会社もございます。

大谷委員

先程、中学校への接続の問題を申し上げたのですけれど、幼稚園、保育園から1年生へのギャップも非常に大きいんですね。最前線の先生が教育指導で御苦労されていると私は認識しております。そうした時に東京書籍の大きさ、教科書であり、ノートであり、書き込みが自由にできそうであるというところ、小学校の入りという意味では大きな意味があるのではないかと思います。

それともう一つ、専門員長から高学年になるとQRコードも増えてくるというお話がありました。新興出版社啓林館の素晴らしさや各者良さがあるため非常に悩ましいのですが、今の1年生の問題、QRコード、6年生になるとこういうふうであるとか、あるいは見やすさ、そうしたところで私は東京書籍がよいと思います。

石田委員

SDGsについてなのですが、学校図書では各学年で取り上げていて、4年上ではプラスチックごみについて考えよう、4年下では日本の森林について考えよう、5年下では食べ物を考えようと最も多く載っています。SDGsについてはいかがでしょうか。

調査専門員長

石田委員御指摘のとおり、SDGsについて学校図書では1年から多く取り上げておまして、食べ残しについて数と結び付けたり、プラスチックごみも取り扱っていることが大きな特徴でございます。SDGsについては各者取り扱っているのですが、大日本図書では3年以上にSGDsに関する特設ページとして「なるほど算数教室」を作っていることが特徴となっております。新興出版社啓林館では同じ3年下104ページから「わくわくSDGs」というコーナーを設け、自分たちに何ができるかを考えるようなことが内容として記されており特徴となっております。東京書籍5年下では自然と環境を算数と結び付け、複数資料を同時に読み取ったり、他者にもあるのですが、グラフに色だけでなく柄をつけてユニバーサルデザインの観点で活用しているという特徴がみられます。

石田委員

私は東京書籍がよいと思いました。5年上28ページに「いかしてみよう」というのがあり、熱中症について載っています。次のページでは怪我についても載っています。算数をいかしているということが載っており非常によいと思います。

もう1点、三角定規で平行線を書こうというところを各者比べたのですが、東京書籍が一番詳しく書かれています。教育出版だけは右利きと左利き両方の書きかたが載っていたのですが、東京書籍は2ページ使い詳しく書かれており感心しました。

竹居教育長

他に、御意見がなければ、これで協議は終了にいたしまして、採決に移りたいと思います。ただいまの委員の皆様の御意見では、東京書籍が児童の発達段階に配慮した教材が多くあり工夫がなされている点、算数を生活に生かす視点が入っている点、このような点から優れているとの御意見がありましたので、東京書籍株式会社を採択するという事で御異議はありませんか。

各委員

<異議なし>

竹居教育長

それでは、算数は、東京書籍株式会社を採択することとします。

理科

竹居教育長

続きまして、理科の教科書について協議検討を行います。
調査専門員長からの調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長

小学校理科の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載され

た6種24点すべてについて調査研究をいたしました。

それでは、教科書目録順に御説明いたします。まず、東京書籍です。内容については、6年生46、47ページを御覧ください。各単元の導入では、見開きでダイナミックな写真等を掲載し、児童の興味・関心をかきたて、主体的に問題を見いだす場面が設定されています。また、47ページ右下の青囲みのように「理科の見方・考え方」が考える際のヒントとして明示されています。5年生133ページを御覧ください。「広げよう！理科の発想」「理科の世界たんけん部」では、理科の発想力を広げる工夫、習得した知識を使って実社会・実生活との関連を考え、理解を深められるように工夫されています。112ページを御覧ください。単元末には、各学年で育成すべき問題解決の力の定着状況を見取ることができるように工夫されています。資料については、4年生180ページ以降を御覧ください。器具の使い方、記録や話し合いの仕方、コンピューターの使い方等理科の学び方が掲載されています。また、QRコンテンツが豊富に掲載されており、すぐに活用することができるように工夫されています。表記・表現については、ユニバーサルデザインフォントを採用し、写真やイラストに登場する男女比率、役割、服装等に配慮がみられるとともに、大きいA4判を採用しつつ軽量の紙を使用し、重量にも配慮されています。

次に、大日本図書について御説明いたします。内容については、5年生139ページを御覧ください。各単元末では、習得した知識を使って他の事象を説明し、理解を深めることができるように工夫されています。また、学習前と学習後を比較し、児童が自己の変容に気付くことができるように工夫されています。3年生133ページを御覧ください。「りかのたまてばこ」、「サイエンスワールド」では、豊富な資料から日常生活や生活経験との関連について学ぶことができるように工夫されています。資料については、これまでより大きいA4判が採用されています。6年生208ページ以降を御覧ください。器具の使い方、記録と整理の仕方、コンピューターの使い方等理科の学び方が豊富に掲載されており、定着を図ることができるように工夫されています。また、QRコンテンツが豊富に掲載されており、すぐに活用することができるように工夫されています。表記・表現については、ユニバーサルデザインフォントの採用等により読みやすく構成されています。

次に、学校図書について御説明いたします。内容については、4年生112ページ「わかったこと」、併せて、119ページ「問題をみつけよう」を御覧ください。112ページで習得した知識を単元の中で完結させず、119ページの予想の根拠として生かすように工夫されています。3年生87ページ「できるようにになりたい」、併

せて、95ページ「できるようになった」を御覧ください。単元の導入で児童に身に付けさせたい力を示し、単元終末で振り返ることで自己評価を行いながら学習に取り組むことができるように工夫されています。5年生17ページを御覧ください。児童が学んだことを生かしてものづくりをしたり、説明活動を行ったりすることで、新たな視点や気付き、表現力や探究意欲を育むことができるように工夫されています。資料については、5年生176ページ以降を御覧ください。問題の見つけ方、話合いや記録の仕方、器具の使い方等理科の学び方が掲載されており、学習の取り組み方が理解できるように工夫されています。表記・表現については、ユニバーサルデザインフォントが採用され、色使いやレイアウトなど配慮されています。また、男女のグループ写真が掲載されており、男女平等の観点からも配慮されています。

次に、教育出版について御説明いたします。内容については、4年生11ページを御覧ください。「理科の見方・考え方」に関する部分に色を付けることにより、児童が「理科の見方・考え方」を自在に働かせることができるように工夫されています。3年生82ページを御覧ください。学習前と学習後を比較し、児童が自己の変容に気付くことができるように工夫されています。4年生23ページを御覧ください。教科担任制の課題への対応として、観察時間を特定せず、休み時間を使った観察方法が示されています。資料については、6年生210ページ以降を御覧ください。写真や動画の撮り方、器具の使い方等理科の学び方が掲載されています。5ページでは国語、217ページでは算数とのつながりが掲載されており、教科横断的な学びが示されています。表記・表現については、ユニバーサルデザインフォント、カラーユニバーサルデザインが採用され、見やすさ、読みやすさについて配慮されています。登場人物やイラスト・写真については、性別による偏りがないように配慮されています。

次に、信州教育出版社について御説明いたします。内容については、4年生50、51ページを御覧ください。学習内容を活用したものづくりや、実社会・実生活との関連から理解を深めることができるように工夫されています。6年生102ページを御覧ください。既習の内容を想起させるように工夫されています。153ページを御覧ください。発展的な活動に挑戦することで、科学的な興味・関心を高めることができるように工夫されています。資料については、5年生72ページを御覧ください。内容に応じてイラストを大きく掲載し、児童の理解を深めることができるように工夫されています。155ページ以降を御覧ください。巻末に次の学年で学

習する内容が掲載されており、児童の興味・関心を次年度につなげることができるように工夫されています。156ページにはQRコンテンツの掲載ページ及び再生時間が示されています。表記・表現については、カラーユニバーサルデザインが採用され、必要な情報が伝わるように配慮されています。また、写真やイラストは、性別・人種・身体的特徴に十分配慮されています。

最後に、新興出版社啓林館について御説明いたします。内容については、6年生11ページを御覧ください。各単元の導入では、児童が自ら問題を見いだす場面が設定されています。下段「はじめに考えよう」、併せて、単元終末の23ページ下段「もう一度考えよう」を御覧ください。同じ問いについて考えることで、考えの変容が実感できるように工夫されています。167ページ、併せて、170、171ページを御覧ください。節末や単元末に理科の有用性が実感できるように生活や社会に関連した話題が豊富に掲載されています。4年生200ページを御覧ください。巻末の「WaCBT」では、映像を見て問題に答えるCBTコンテンツが体験でき、読解力、情報活用能力の向上を図ることができるように工夫されています。資料については、多くのWebサイトにつながるQRコードが豊富に掲載されています。3年生175ページ以降を御覧ください。ノートのまとめ方、話合いの仕方、施設の活用等理科の学び方が掲載されています。表記・表現については、ユニバーサルデザインフォント、カラーユニバーサルデザインが採用され、見やすさ、読みやすさに配慮されています。6年生144ページを御覧ください。写真や挿絵は男女が互いに協力しながら積極的に活動する様子が示されています。

以上で、小学校理科の説明を終了いたします。

竹居教育長

続いて、選定委員長から報告をお願いします。

選定委員長

理科につきまして選定委員会で出された意見を報告します。資料Bの3ページを御覧ください。

教科書目録に示された6者の教科書発行者の中で、東京書籍、教育出版、新興出版社啓林館について意見が多く出されました。

東京書籍につきましては、問題解決につながる内容が丁寧に扱われていること、観察実験における方法について配慮がなされていること、資料が鮮やかで見やすいこと等がよい点として挙げられました。

教育出版につきましては、実物の大きさがわかるインパクトがある資料があってわかりやすい、理科についての知識や思考を深める「科学のまど」の内容が充実していてよいといった意見が挙げられました。

新興出版社啓林館につきましては、児童が自分で問題を設定しやすくする工夫、学んだことを実社会で生かすことにつながる工夫がよい、実験方法について説明がわかりやすい等の意見が挙げられました。

大日本図書につきましては、「予想」「調べる」「考察」の理科のプロセスが見やすく構成されていること、学校図書につきましては、知識を単元の中だけで完結させることなく、次の根拠として生かす工夫が見られること、信州教育出版社につきましては、実生活との関連から理解を深める工夫が見られる内容があることが、それぞれよい点として挙げられました。

以上でございます。

竹居教育長

続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします。

指導1課長

市立各小学校による、理科の主な調査所見について教科書目録順に申し上げます。資料Cの9ページを御覧ください。

東京書籍、教科書が大判でイラストや写真が見やすい。問題解決の思考の流れがわかりやすいなど。

大日本図書、写真、図が大きく見やすい。問題解決の流れを意識した構成がよいなど。

学校図書、写真や絵、表が大きく見やすい。課題からまとめまでの学習の進め方がわかりやすいなど。

教育出版、イラスト、写真がわかりやすい。問題解決の過程が視覚的にわかりやすいなど。

信州教育出版社、所見はございませんでした。

新興出版社啓林館、学んだことの有用性を実感できるような、児童の興味を引き出す話題が多い。デジタルワークシートやイラストデータ等、端末を活用した学習につながってよいなど。

以上でございます。

竹居教育長

それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

石田委員

理科ということで、QRコードが一番大切な科目だと思います。効果的に使われている教科書があれば教えていただけますでしょうか。あとデジタル教科書への対応についてもわかれば教えてください。

調査専門員長

QRコードは各者掲載されており、実験方法が動画で確認できるもの、ワークシートをダウンロードできるもの、関係するホームページ

にリンクするものなど様々ございます。いずれも授業の中で活用できるものと調査いたしました。

武川委員

理科の場合、児童が興味を持つか持たないかが一番大事で、それに力を与えるのが写真ではないかと思います。どんなものであっても興味を持たせるくらいの力を持った写真映像というのがとても大事で、子どもたち、大人もそうですが興味を持つことができるのではないかと思いつながりを見せていただきました。全体として写真が素晴らしいと思いましたのが東京書籍でした。

石田委員

5年生で顕微鏡の使い方がでてくるのですが、東京書籍、大日本図書は右目、教育出版は左目で見て右目で書く、中学以降も顕微鏡を使いますが詳しく載っているのが教育出版でした。また、脈拍について各教科書を見比べたところ、東京書籍、学校図書、新興出版社啓林館は橈骨動脈、総頸動脈、足の動脈と詳しく書かれておりました。血圧が低下すると手首では測れないので総頸動脈で見るのが一番なのですが、一番詳しく見やすいのが東京書籍でした。

大谷委員

理科なので実験があると思うのですが、安全配慮や注意等について各者差異がないということでしょうか。

調査専門員長

観察や実験時の注意喚起の表記につきましては、危険や注意など言葉は違えども色を目立つよう表記するなど、各者工夫をしていることを確認しております。

竹居教育長

さいたま市は「STEAMS TIME」が教育課程に組み込まれています。理科でもかなり教科横断的なものが必要だと思います。先程石田委員もおっしゃったとおり、理科と実生活の関連が図られているものもあったのですが、教科横断的な視点での他教科との連携の部分、各者どのような形となっていますでしょうか。

調査専門員長

他の教科との関連ですと、5年生では算数とのかかわりということで各者表記があります。秤を使って平均を求めるであるとか、比例の関係といったつながりが表記されていました。3年生では「これまでの学習を振り返ろう」ということで生活科に戻るところや音楽にかかわるような話題に触れているところもございます。

竹居教育長

そうしますと、全ての出版社が今のようなかかわりを持っているのか、特化して素晴らしいところがあれば紹介いただけますでしょうか。

か。

調査専門員長 　他の教科との関連につきましては、それぞれの量や教科との関係性の数に違いはございますが、掲載は各者ともございます。

大谷委員 　理科に限ったことではないのですが、どの教科にもキャラクターがでできます。東京書籍では1年生のキャラクターが日本人だけではなく様々な国の方がキャラクターとなっています。1年生から様々な国の方々がキャラクターで出てきて非常に好ましいと思いました。あるいは別の教科書では車いすの方も出ている。そのような多様性といえますか、そういった所を意識した教科書がよいのではないかと思います。

理科の教科書については武川委員と同じなのですが、導入時のダイナミックで鮮明な写真、自然事象の掲載、草花の枯れる過程であったでしょうか児童の興味関心につながっているのではないかと、そうした意味で東京書籍がよろしいのではないかと思います。

竹居教育長 　他に、御意見がなければ、これで協議は終了にいたしまして、採決に移りたいと思います。ただいまの委員の皆様の御意見では、東京書籍が児童の興味関心をかきたてる写真資料等の工夫がなされているという点、理科と実生活との関連が図られている点において優れているとの御意見がございましたので、東京書籍株式会社を採択するという事で御異議はありませんか。

各委員 　<異議なし>

竹居教育長 　それでは、理科は、東京書籍株式会社を採択することとします。ここで休憩といたします。再開は午後1時10分といたします。

生活

竹居教育長 　続きます、生活の教科書について協議検討を行います。調査専門員長からの調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長 　小学校生活の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された7種14点すべてについて調査研究をいたしました。

教科書目録順に御説明いたします。まず、東京書籍です。内容については、下巻74、75ページを御覧ください。地域とのかかわりを

重視し、活動を繰り返す中で、協働的に気付きを深める工夫がされています。町探検を5回、施設の利用が1回設定されています。下巻89ページには、地域の方を招待した発表会も例示されており、地域とともにある学校づくりにもつながる工夫がされています。資料については、下巻114、115ページを御覧ください。いわゆる「思考ツール」と呼ばれる思考を深めるための手法が低学年児童にもわかりやすく示されており、協働的な学びに役立つ工夫がされています。表記・表現については、上巻75ページを御覧ください。活動のポイント等が見開きの右上に示されており、確認しやすく構成されています。

次に、大日本図書について御説明いたします。内容については上巻32、33ページを御覧ください。学校探検で飼育動物に気付き、小動物とのふれあいにつながっている点は、動物介在教育の必要性が感じられる構成となっています。資料については、下巻116、117ページを御覧ください。「思考ツール」として、考えを出し合い、順番に並べたり、分類したり、2観点や4観点を整理分析する手法が紹介されています。表記・表現については、上巻58、59ページを御覧ください。右下に気持ちマークがあり、言葉で表現しにくい時期の子どもたちの気持ちを表しやすい工夫がされています。

次に、学校図書について御説明いたします。内容については、下巻87、88ページを御覧ください。理科につながるおもちゃ作りの例示が内容、数で大変充実しています。作ったり遊んだりを繰り返しながら、自然の不思議さ面白さを味わい、科学的なものの見方・考え方、論理的思考につながる学習が期待できる工夫がされています。資料については、上巻54、55ページ、下巻46、47ページを御覧ください。ものしりノートとして、図鑑機能が充実しており、教科書である程度の調べ学習ができるように工夫されています。表記・表現については、下巻69ページを御覧ください。見開きページの右下に次への活動のつながりや期待感が膨らむイラストや吹き出しが示されており、児童が思いや願いをもちやすいように工夫されています。

次に、教育出版について御説明いたします。内容については、上巻90ページを御覧ください。家族単元では単元名を「家族ニコニコ大作戦」として、手伝いや自分のことだけでなく、マッサージやゲームなど、家族への思いやりや家族のだんらんを大切にするように工夫されています。下巻66、67ページを御覧ください。町探検の発表会を、町の人を招待してワークショップ方式で行うことがイラストでわかりやすく例示されています。資料については、下巻112、113ページを御覧ください。協働的な学びについて、伝え合うとき、考えを出し合うとき、考え方の広げ方、分類、順序づけなど、学び方や思

考ツールがわかりやすく整理されています。表記・表現については、上巻55ページを御覧ください。単元のはじめに「わくわくスイッチ」があり、遊び感覚で興味・関心を高め、学習への見通しをもち、意欲を高めるように工夫されています。上巻87ページを御覧ください。「考えまとめいろ」では遊び感覚で、思いや願いを膨らませる効果が期待されます。

次に、信州教育出版社について御説明いたします。内容については、上巻32から34ページを御覧ください。地域密着型で、地域への愛着が深まるような構成になっています。野草を食べたり、端午の節句などの季節の行事が豊富に扱われたり、日本の伝統行事や文化について親しめる構成となっています。資料については、巻末資料が設けられておらず、活動を通して学ぶという学習原理が重視されています。表記・表現については、下巻38、39ページを御覧ください。基本的に縦書きのため教科書が右開きで構成されています。国語と同じ右開きであるため、読み物を読んでいるような感覚があります。板書や学習カードの例示も基本的には縦書きに構成されています。

次に、光村図書について御説明いたします。内容については、上巻の4、5ページを御覧ください。原則見開き2ページで一つの学習となるよう構成されており、左に縦書きで学習することが簡潔な言葉で示され、右下に「こんなことはあったかな」とふりかえりの視点が示されており、気付きを引き出す工夫がされています。資料については、下巻の巻末資料26ページ27ページを御覧ください。巻末資料の図鑑や「広がるせいかつじてん」が切り離せるようになっています。生き物の飼い方等が巻末にまとめられており、児童にとって持ち運びがしやすくなっています。表記・表現については、下巻73ページを御覧ください。イラストとともに、子ども目線のつぶやきが随所に見られ、楽しみながら学習をすすめられるように工夫されています。

次に、新興出版社啓林館について御説明いたします。内容については、下巻83ページを御覧ください。地域とのつながり、生命尊重教育などがバランスよく構成されています。見守りボランティアの方へのインタビューもあり、地域とともにある学校づくりにつながる工夫がされています。上巻58ページを御覧ください。学校飼育動物とのかかわりを大きく扱っており、動物介在教育により身近な生き物が少ない地域でも飼育活動を体験できるよう配慮されています。資料については、上巻の1ページ、下巻の巻末を御覧ください。上巻の巻頭にスタートブック、下巻の巻末にはステップブックがあり、保護者へのメッセージとともに就学前から2年生までの成長を子どもとともに振り返れる工夫がされています。表記・表現については、上巻の66ページを御覧ください。全単元の導入に「わくわくタイム」があり、

学習対象への興味・関心を高める工夫がされています。上巻74ページを御覧ください。左側に「いきいき」とありますが、生き生きと活動する場面では、左上に学習することが簡潔に書かれ、見開きの右下に縦書きで次の学習へのつながりが示されています。

以上で、小学校生活の説明を終了いたします。

竹居教育長

続いて、選定委員長から報告をお願いします。

選定委員長

生活につきまして選定委員会で出された意見を報告します。資料Bの4ページを御覧ください。

教科書目録に示された7者の教科書発行者の中で、東京書籍について意見が多く出されました。

東京書籍につきましては、「町たんけん」についての内容が充実していてよい、写真やイラストが多様で目で見て理解しやすい、季節に合わせた工夫した構成が見られ季節ごとの喜びを感じることができてよい等の意見が挙げられました。

大日本図書につきましては、「きもちマーク」等があることで、文字で表現することに難しさを感じる児童が自分の気持ちを表現する助けになること、学校図書につきましては、動植物の写真やスケッチが鮮明でわかりやすいこと、教育出版及び新興出版社啓林館につきましては、動植物の写真の下に名称が書かれており、図鑑のような活用ができること、光村図書出版につきましては、單元ごとに、振り返りの活動がはっきりと示されていることが、それぞれよい点として挙げられました。信州教育出版社につきましては、意見がございませんでした。

以上でございます。

竹居教育長

続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします。

指導1課長

市立各小学校による、生活の主な調査所見について教科書目録順に申し上げます。資料Cの11ページを御覧ください。

東京書籍、写真やイラストが大きく、活動を視覚的に捉えやすい。教材が工夫されていてよいなど。

大日本図書、挿絵に温かみがあってよい。「きもちマーク」等、書き込むことができる場所が多くてよいなど。

学校図書、写真や絵が見やすい。観察のポイントの記載があり、理科につながる思考を育みやすいなど。

教育出版、写真や挿絵等、資料が見やすい。活動のポイントがわか

るQRコードが多くてよいなど。

信州教育出版社、所見はございませんでした。

光村図書出版、イラストが児童に親しみやすい。振り返りの仕方が工夫されていてよいなど。

新興出版社啓林館、写真やイラストが、活動をイメージしやすい。デジタル教材を活用できてよいなど。

以上でございます。

竹居教育長 それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

石田委員 安全に過ごすことということが各教科書に載っているのですが、あと健康に過ごそうというところ、新興出版社啓林館が一番わかりやすく載っていると思いました。それぞれの教科書について調査専門員の御意見をお聞かせください。

調査専門員長 保健関係について、信州教育出版社には特に記載はありませんが、その他の教科書については手の洗い方、うがい等について記載が見られます。

石田委員 どの教科書にも載っているのですが大差ないのですが、見やすいのは新興出版社啓林館かなと思ったところです。もう一点、東京書籍には活動便利帳というものがあり、まとめられていて非常によいと思います。

大谷委員 東京書籍に町探検が掲載されているのですが、地域とともにある学校づくり、学校というものが地域とともにあるべきであろうということで、地域とのかかわりや協働的な在り方といった観点から良くできており、東京書籍がよいのではないかと思います。写真やイラストが大きく掲載されていて見やすいというのもよい点だと思います。また、教育出版の家族ニコニコ大作戦、これも大変よいと思います。説明がありましたので確認したのですが、大事な観点だと思いつつ、多様化しているものの考え方、家族の在り方など、家族の在り方自体も多様な在り方があってしかるべきですし、ゆえに扱いの難しさもあるのかなと思います。

武川委員 信州教育出版社について意見が無いということですが、季節を感じさせる行事などがたくさん入っており、うれしく思いました。季節を感じるというと、他の教科書では理科的にもみじなどを扱うことが多いのですが、行事はどちらかというと社会的なものなので、東京書籍

では行事や秋・冬の暮らしなど、理科だけでなく社会的なものも扱っていて素晴らしいと思いました。

竹居教育長 他に、御意見がなければ、これで協議は終了にいたしまして、採決に移りたいと思います。ただいまの委員の皆様の御意見では、東京書籍が地域とともにある学校づくりに配慮している点、見やすいイラストなどから活動を視覚的にとらえられる教材が工夫されている点、季節行事が教材として取り入られている点などにおいて優れているという御意見がございましたので、東京書籍株式会社を採択するという事で御異議はありませんか。

各委員 <異議なし>

竹居教育長 それでは、生活は、東京書籍株式会社を採択することとします。

音楽

竹居教育長 続きまして、音楽の教科書について協議検討を行います。調査専門員長からの調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長 音楽の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された2種12点すべてについて調査研究をいたしました。

教科書目録順に御説明いたします。まず、教育出版です。題材の要点となるページに、「学習のめあて」と「学び方」を示唆し、見通しをもって学習できるよう配慮されております。内容については、3年生40から43ページを御覧ください。歌唱共通教材は「にっぽんのうた みんなのうた」として配置され、3ページにわたり、歌詞の表す風景の迫力ある写真が使用され、児童が情景を想起しやすい工夫がされております。資料については、2年生、目次のページを御覧ください。QRコードが示され、学習に対応した資料がWeb上に用意されております。同じく2年生70、71ページを御覧ください。「ショートタイムラーニング」というコーナーに多種多様な曲を掲載し、教科横断的な学習ができるよう工夫されています。表記・表現については、5年生52、53ページを御覧ください。右上には学習指導要領の共通事項で示された「音楽を形づくっている要素」を「音楽のもと」としてわかりやすく表記されております。

次に、教育芸術社について御説明いたします。音楽を通して、生活や社会とつながるという視点で、資料的なコラムが配置されております。内容については、6年生40から43ページを御覧ください。歌

唱共通教材は「こころのうた」として配置されており、家族や地域の人にインタビューをする活動や、音楽の持っている力や役割について話し合う活動を取り入れ、日本の歌を歌い継ぐ気持ちが養われるよう展開が工夫されております。資料については4年生の34、35ページを御覧ください。楽譜を図や線で表し、児童が旋律の動きを視覚的に理解できるよう工夫されております。また、ページの右上にはQRコードが示され、動画や音楽を資料として活用することができます。表記・表現については20、21ページを御覧ください。見開きごとに学習のめあてが示されております。音符や記号、用語などは、左下に、音楽を形づくっている要素は、右下にわかりやすく表記されております。

以上で小学校音楽の説明を終了いたします。

竹居教育長

続いて、選定委員長から報告をお願いします。

選定委員長

音楽につきまして選定委員会が出された意見を報告します。資料Bの4ページを御覧ください。

教科書目録に示された2者の教科書発行者の中で、教育出版について意見が多く出されました。

教育出版につきましては、児童が主体的に学ぶための工夫として、「音楽のもと」の横にメモ欄が設けられていること、情景を思い浮かべながら歌唱や合奏ができるように写真等、構成が工夫されていること、音を通して喜びを感じられるようにするといった、情操教育につながる観点を取り入れられていることがよい点として挙げられました。

教育芸術社につきましては、音楽の構造や楽曲の背景を理解しながら学んでいくという観点での構成がよいという意見が挙げられました。

以上でございます。

竹居教育長

続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします。

指導1課長

市立各小学校による、音楽の主な調査所見について教科書目録順に申し上げます。資料Cの13ページを御覧ください。

教育出版、選曲がよい。写真がきれいで見やすく、理解を深めることができる。学習目標や内容がわかりやすいなど。

教育芸術社、選曲がよい。学習の流れがわかりやすい。音楽づくりの題材で、イラストや記号を用いた具体的な例がわかりやすいなど。

以上でございます。

竹居教育長 それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

大谷委員 学習指導要領において日本人として伝えていきたい歌、何がというのは難しいかもしれませんが、例えば、「ふるさと」や「荒城の月」であるとか、日本人として歌い継いでいきたい歌の採用数というようなものはありますでしょうか。また、歌い継いでいきたい歌とか、難しいかもしれませんが教えていただけますでしょうか。

調査専門員長 日本の曲ということにつきましては、学習指導要領上に歌唱共通教材ということで同じ数ずつ示されており、同じ数ずつどの教科書にも採用されております。

大谷委員 どちらが多い、少ないということではないということによろしいでしょうか。

調査専門員長 そのとおりでございます。

石田委員 さいたま市は英語教育がすごいのですけれど、教育出版には1年生から英語の歌が載っていますが、比率的にはどうなのでしょう。

調査専門員長 教育出版にはショートタイムラーニングという形で英語の歌が掲載されております。教育芸術社にはまとまった形では掲載はございません。

石田委員 圧倒的に教育出版の方が多い、そのような理解でよろしいでしょうか。

調査専門員長 そのとおりでございます。

石田委員 もう1点、どちらの教科書にも君が代が載っているのですけれど、歌詞に出てくるさざれ石、場所的には岐阜が正式らしいのですが、いろいろな所にさざれ石があって載っているのですけれど、その点についてはいかがでしょうか。

調査専門員長 さざれ石につきましては、子どもたちが曲想を思い浮かべるために、様々な形の写真を掲載しているものと思われま。

石田委員 教育出版では、国歌のところで東京オリンピックの写真が載っており、国歌はこういうところで使うということがわかりやすいと思います。

もう1点、音楽といえばオーケストラなのですが、両者ともオーケストラの響きとして載っていて、教育出版では次のページに使われた楽器について詳しく説明されていてわかりやすい。また、歌に合わせた富士山や海などの写真、英語の歌も多いですし、私は教育出版がよいと思います。

武川委員 両者ともいろいろなアイデアを駆使して音楽に興味を持ってもらおうとしていて、ものすごくよくできていると思います。

音楽は、実際に音を聞いたり参加して感動するかどうかということがメインになると思うのですが、教科書はそこにどのくらいプラスアルファをしていくのか、その努力の跡にとても頭が下がります。

あとは、インターネットを使って音を聞くことがどのくらいできるのか。端からは端まで試したわけではないのですが、QRコードを使うことでどのようなことができるのでしょうか。

調査専門員長 QRコードの内容につきましては、補助的な動画、音、知識を補う資料という形となっております。

武川委員 本物の音が少しでもよいので聞ける工夫があると良かったと思います。オーケストラであれば演奏の一部だけでもよいのですが、本当に聞こえてきたら、「これがオーケストラなんだ」と思えるのではないのでしょうか。いろいろと課題があり難しいのかもしれませんが、音はいろいろな形で聞かせることができますし、教科書ばかりとも思いませんので、これからの課題として。いずれにしましても、両者ともとても素晴らしい努力をしているという風に思います。

竹居教育長 子どもたちにリアルな音を聞かせたいということだと思います。

大谷委員 専門家の後で大変話しぶらいのですが、私自身は写真がどんと出てきますとイメージがしやすい。イメージしたうえでの歌いやすさもあるでしょうし、写真のイメージがよいという意味では教育芸術社も大変良くできているのですが、わずかな差ですが教育出版がよいと思います。

竹居教育長 私から1点。教育出版では歌を歌うのはもちろんなのですが、リズム打ちを体で表現したりとかそういうところがあったのですけ

れど、教育芸術社の方はいかがでしょうか。

調査専門員長 どちらの教科書にも同じように取り扱われております。

竹居教育長 他に、御意見がなければ、これで協議は終了にいたしまして、採決に移りたいと思います。ただいまの委員の皆様の御意見では、教育出版の写真教材が豊富で充実している点、更には英語教材が多数掲載されている点などにおいて優れているとの御意見がありましたので、教育出版株式会社を採択するという事で御異議はありませんか。

各委員 <異議なし>

竹居教育長 それでは、音楽は、教育出版株式会社を採択することとします。

図画工作

竹居教育長 続きます、図画工作の教科書について協議検討を行います。
調査専門員長からの調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長 小学校図画工作の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された2種12点すべてについて調査研究をいたしました。

それでは、教科書目録順に御説明いたします。まず、開隆堂出版です。内容については、1・2年上の5から7ページを御覧ください。巻頭で1年間のカリキュラムが見開きページで示され、見直しをもって各題材の内容をとらえることができる工夫がされております。続いて、1・2年上の44、45ページを御覧ください。題材で育てたい資質・能力が3つの学習のめあてと、キャラクターで示されております。また、重点的に育てたい力については、下線を引き文字の色を変えて強調することで、児童が目的意識を強くもって活動できる工夫がされております。45ページ右下のように、各題材には、「ふりかえり」が示され、児童が自分の活動を自己評価する際の手助けとなる視点が示されております。次に、5・6年下の38、39ページを御覧ください。鑑賞の題材は、各学年とも見開きページの内容で構成し、様々な美術作品やそれに関連する児童作品を掲載するなど、発展的な鑑賞活動ができる工夫がされております。資料については、3・4年上58から65ページを御覧ください。ここでは、「学びの資料」を設け、用具の扱い方や表し方、製作過程が写真などで示され、図画工作の基礎・基本を習得できる工夫がされております。表記・表現については、3・4年下の30から33ページを御覧ください。題材名の

上に題材で扱う主な材料や用具が文字とイラストで示されております。また、教科横断的な視点から関連する教科を「あわせて学ぼう」で示しております。

次に、日本文教出版について御説明いたします。内容については、1・2年上4から6ページを御覧ください。各学年の巻頭に「ずがこうさくが はじまるよ」が見開きページで構成され、児童が興味関心を持つ活動が掲載され、図画工作の授業開きとして活用できる工夫がされております。また、学年にあわせた「図工たいそう」を提案しています。続いて、5・6年上38・39ページを御覧ください。題材で育てたい資質・能力が3つの学習のめあてとマークで示されるとともに、題材名の下には四角囲いの中に文字の色を変えてめあての概要が記載されています。次に、1・2年下の14、15ページを御覧ください。鑑賞の題材では、児童の体験を促し、感じたことを自分で確かめたり、友達と対話したりしながら、よさや美しさを感じる鑑賞活動ができる工夫がされております。また、全ての題材が製作の中で鑑賞を行う様に設定されています。鑑賞は、つくりながら常に行い自分の作品づくりに活かしていく工夫がされております。資料については、3・4年上の55から64ページを御覧ください。ここでは、「ざいりょうとようぐのひきだし」を設け、材料や用具の扱い方、留意点などが示され、図画工作の基礎・基本を習得できる工夫がされております。表記・表現については、3・4年下の18、19ページを御覧ください。学年全ての題材が見開きページで示され、参考作品や活動の情景写真などが大きく掲載されております。また、教科横断的な視点から関連する教科を「つながる学び」で示しております。

以上で、小学校図画工作の説明を終了いたします。

竹居教育長

続いて、選定委員長から報告をお願いします。

選定委員長

図画工作につきまして選定委員会が出された意見を報告します。資料Bの5ページを御覧ください。

教科書目録に示された2者の教科書発行者の中で、開隆堂出版について意見が多く出されました。

開隆堂出版につきましては、キャラクターのイラストとともに学習のめあてがわかりやすく示されていること、図画工作で培った資質・能力が社会に出た時にどのように役立っているか、わかりやすく示された資料があること、QRコードによる題材に関する資料が充実していることがよい点として挙げられました。

日本文教出版につきましては、学習内容が見開きページで見やすく構成されていてよい、写真が色鮮やかで見やすいという意見が挙げら

れました。
以上でございます。

竹居教育長 続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします。

指導1課長 市立各小学校による、図画工作の主な調査所見について教科書目録順に申し上げます。資料Cの14ページを御覧ください。
開隆堂出版、活動の写真や作品例が多く、イメージをもちやすい。学習のめあてや身に付けたい力が明記されていてよい。道具の使い方や絵画の技法がわかりやすいなど。
日本文教出版、材料の無駄をなくす題材が多く、取り組みやすい。思いつくことが苦手な児童にも発想するヒントとなるページがあつてよい。作品例や技法の種類が多く掲載されていて、わかりやすいなど。
以上でございます。

竹居教育長 それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

石田委員 図画工作ではQRコードがたくさん載っているのですが、日本文教出版に多いようですが内容はいかがでしょうか。

調査専門員長 QRコードの内容につきましては、開隆堂出版ではSDGsの項目を写真で掲載していたりするところ、日本文教出版ではQRコードから紐づけられているような形となっております。そこから、載せきれない写真などを見ることができます。

大谷委員 両者比べて見ますと、開隆堂出版3・4年生30ページ、右上に「学習のめあて」が明確に示されております。これは子どもたちにとっての学習のめあてだと思っておりますが、指導者においてもひとつの重要なめあてになると思います。日本文教出版にも右下にかたづけ、ふりかえり、あわせてまなぼうがあるのですが、開隆堂出版の方が明確に読めるということが大きいのではないのでしょうか。小学校では図画工作専門の先生が教えるということではなくクラス担任が教えるので、学習の目当てを書いてあるということは教えやすい教科書であると思います。従いまして、私自身は2者のうちであれば開隆堂出版を推したいと思っております。

武川委員 どちらかが見やすいと思うと、学年を変えるともう一方が良く見え

たり、甲乙つけがたいというのがあるのですけれど、やはり最初のところでこういうことをやりますと、わかりやすい形で書かれている開隆堂出版の方が使いやすいのではないかという気がしました。

石田委員

日本文教出版53ページ、地域でみんなとつながるというところで、今開催しているさいたま国際芸術祭が載っています。日本文教出版3・4年下には鉄道博物館の写真が載っており、ダイナミックでよい写真です。5・6年下では平和を願ってということでゲルニカの写真が載っているのですが、ダイナミックでよい、小学校の児童に見せたいと思います。

竹居教育長

では、私の方からですが、図工の教科書というのは子どもたちの感性を刺激して、子どもたちがこれを見るだけでわくわくドキドキするようなものだということで、両方ともそのような感じがするのですけれど、今回、日本文教出版は子どもたちの表情がせつかくよいものがあるのですけれど、マスクの子が多いという点が気になりました。

竹居教育長

他に、御意見がなければ、これで協議は終了にいたしまして、採決に移りたいと思います。ただいまの委員の皆様の御意見では、開隆堂出版が、児童が主体性を持って活動できるような工夫がされている点、指導者が自信を持って指導ができる点が優れている等の御意見がございましたので、開隆堂出版株式会社を採択するという事で御異議はありませんか。

各委員

<異議なし>

竹居教育長

それでは、図画工作は、開隆堂出版株式会社を採択することとします。

家庭

竹居教育長

続きまして、家庭の教科書について協議検討を行います。
調査専門員長からの調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長

家庭の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された2種2点すべてについて調査研究をいたしました。

それでは、教科書目録順に御説明いたします。まず、東京書籍です。内容については、98、99ページを御覧ください。「いつも確かめよう」では、基礎的・基本的な知識や技能のポイントがまとめられて

います。この欄は、題材ごとだけでなく、巻頭や巻末にもまとめられており、必要な時にいつでも何度でも確認し、知識・技能の確実な習得を図ることができるように工夫されています。また、全ての題材において、123ページ「見つめよう」、124ページ「計画しよう・実践しよう」、127ページ「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」のように、3つのステップで問題解決的に進められるように構成され、児童が生活の課題を解決する方法を繰り返し実践することで、課題を解決する力を育むことができるよう工夫されています。資料については、28、29ページを御覧ください。右上のQRコードを読み取ると、「Dマーク」で示した資料、例えば、思考ツールなどのトライシート、実習を円滑に進める基礎技能動画、学習をまとめるワークシートなどのデジタルコンテンツが掲載されており児童が、学習内容に応じて活用できるよう工夫されています。表記・表現については、8から11ページの巻頭見開き2ページを御覧ください。児童が安全に活動するための内容を意識できるよう、調理と製作実習の安全にかかわる資料が掲載されています。また、感染症や食物アレルギーへの対応や、各実習のページには、「安全マーク」とともに具体的な注意点がわかりやすく示されています。

次に、開隆堂出版について御説明いたします。内容については、28ページを御覧ください。題材のはじめには「なぜ~だろう」という問い掛けの見出しや課題意識をもたせる写真やイラストが示されています。また、下段には、自ら設定した課題を記入する欄が設けられ、児童が必要感や見通しをもって課題解決に取り組めるように工夫されています。また、全ての題材は、28ページのステップ1「気づく・見つける」で課題を見つけ、30、31ページのステップ2「わかる・できる」で実践を通して課題を解決し、32、33ページのステップ3「生かす・深める」で学習を振り返り新たな課題を発見し、生活に生かすという課題解決に向けた学びを、児童自身が進めることができるように配慮され、繰り返し実践することで、生活の課題を解決する力を育むことができるよう工夫されています。資料については、53、54ページを御覧ください。写真等を用い、実習の行い方が示されるとともに、ページ右上にあるQRコードを読み込むと動画やワークシートなどのデジタルコンテンツが用意され、タブレットを活用して主体的な学習を進めることができるよう工夫されています。また、57ページ、109ページには、日本の生活文化に関する特設ページが掲載され、児童の学習への関心を高めたり学びを深めたりする工夫がされています。表記・表現については、142、143ページを御覧ください。巻末に調理や製作実習の安全についての基礎的事項がまとめて示され、「なぜそうするのか」について問答形式で掲載されており、

児童が安全に対して意識して活動できるよう工夫されています。また、39ページのように、実習を伴う学習のページには、安全マークとともに安全に活動するためのポイント等が囲みで示されています。以上で、小学校家庭の説明を終了いたします。

竹居教育長

続いて、選定委員長から報告をお願いします。

選定委員長

家庭につきまして選定委員会で出された意見を報告します。資料Bの5ページを御覧ください。

教科書目録に示された2者の教科書発行者の中で、開隆堂出版について意見が多く出されました。

開隆堂出版につきましては、「できることを増やしていこう」「工夫して生活に生かそう」のように、学習がステップアップしていく構成がわかりやすいこと、裏表紙に野菜の切り方等、活用しやすい資料があること、日本の食文化についての記載が充実していること等がよい点として挙げられました。

東京書籍につきましては、学習の流れが「ステップ1、ステップ2、ステップ3」といったように、わかりやすく示されていてよいという意見が挙げられました。

以上でございます。

竹居教育長

続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします。

指導1課長

市立各小学校による、家庭の主な調査所見について教科書目録順に申し上げます。資料Cの15ページを御覧ください。

東京書籍、学習の流れがわかりやすい。QRコードの掲載が多くてよい。イラストや写真が豊富でよいなど。

開隆堂出版、実習の作業手順が、横一列でわかりやすい。写真が大きく、数も多いため活動内容がわかりやすい。QRコードが多く、参照したコンテンツで学習を深めやすいなど。

以上でございます。

竹居教育長

それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

大谷委員

やはり男女共同参画の観点、全ての教育活動で取り組んでいかなければならないと考えております。特に家庭科においてはその観点を追及していただきたいと思うのですが、どのように教科書では表現されているかお聞かせください。

調査専門員長

男女共同参画の観点からの配慮につきましては、いずれの教科書でも配慮されております。例えば東京書籍ではイラストや写真の服装や発言内容が性別による役割固定にならないよう、教科書全体を通して配慮されております。開隆堂出版では、男女の区別や障害の有無などにかかわらず、すべての人が平等な関係であることが課題として設定されていたり、写真や絵図も工夫されております。具体的には、東京書籍102ページを御覧いただきますと、男性がエプロンを着用しお茶の用意をしているイラストが示されており、開隆堂出版99ページでは、アイロンがけをしている男の子のイラストがあり、男女の区別で役割分担を固定するような点は配慮されていると考えております。

石田委員

2つの教科書を5大栄養素から見てみたのですが、開隆堂出版が圧倒的にわかりやすい。炭水化物と脂質が主にエネルギーになる、体をつくる、体の調子を整えるなどわかりやすく載っていると思います。

SDGsについても開隆堂出版の79ページと134ページに載っています。

それから専門員長の話にもあったのですが、142ページに安全マークがついています。安全と衛生に気を付けて実習をしようと、非常にまとまっていると思います。

136ページでは2年間の学習を中学校につなげようとしてしっかり載っています。私は開隆堂出版がよいと思います。

武川委員

両方ともよくできていると思います。ひとつこれは面白いと思ったのは、開隆堂出版66、67ページのなぜ衣服を着るのだろうというところ。この問いかけが非常に面白くて、どこの教科でも出てこない問いかけなのではないかと思いました。こういうところから、寒すぎない格好をしましょうとか、重ね着をすればなぜ温かいのかとか、なぜ下着を着るのかなど、考えたことのないことを考える機会がもらえるのは素晴らしいと思います。私も開隆堂出版がよいと思います。

大谷委員

作業の手順が開隆堂出版ですと横一列となっていてわかりやすい。私もどちらかといえば開隆堂出版がよいと思います。

竹居教育長

他に、御意見がなければ、これで協議は終了にいたしまして、採決に移りたいと思います。ただいまの委員の皆様の御意見では、なぜという実生活について課題意識を持たせる工夫がなされている点、児童が安心、安全、衛生を意識して活動できるよう工夫がされている点、このような点から優れているとの御意見がありましたので、開隆堂出

版株式会社を採択するという事で御異議はありませんか。

各委員 <異議なし>

竹居教育長 それでは、家庭は、開隆堂出版株式会社を採択することとします。
ここで10分間の休憩といたします

保健

竹居教育長 それでは再開します。続きまして、保健の教科書について協議検討
を行います。

調査専門員長 調査専門員長からの調査研究結果の報告をお願いします。
保健の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された6種
12点すべてについて調査研究をいたしました。

それでは、教科書目録順に御説明いたします。まず、東京書籍です。
内容については、3、4年13から16ページを御覧ください。1時
間の学習が「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝え
る」「まとめる・生かす」の4ステップを基本として構成されてい
るとともに、各ステップに書き込みスペースがあり、教科書に従って学
習を進める中で、思考力・判断力・表現力が身に付くように工夫され
ております。また、同じく16ページを御覧ください。語句の穴埋め
や文章記述によるまとめにより、学習を振り返り、知識を定着するこ
とができるように工夫されております。資料については、5、6年4
3ページを御覧ください。ASUKAモデルの説明や、桐田寿子氏の
言葉、救命のフローチャート、胸骨圧迫の行い方やAEDの使用の仕
方等が掲載されております。また、3、4年38ページを御覧ください。
「性と自分らしさ」として、体の性、心の性、好きになる性、表
現したい性について掲載されております。表記・表現については、5、
6年72、73ページを御覧ください。登場するキャラクターは、外
国にルーツがある児童や、車椅子の児童、女性の学校医など、社会の
多様性を反映するように工夫されております。また、5、6年58ペ
ージを御覧ください。左下の欄外に、「まめちしき」や、検索するべ
き言葉等が掲載されております。

次に、大日本図書について御説明いたします。内容については、3、
4年8ページを御覧ください。各章の扉に、各時間のタイトルや、大
まかな学習内容が明記されており、見通しをもって学習に取り組むこ
とができるように工夫されております。また、同じく3、4年の9ペ
ージを御覧ください。人物探しのような、簡単なミニゲームの活動に

取り組むことで、楽しみながら自らの健康課題に気付き、主体的に学習に取り組むことができるように工夫されております。資料については、3、4年39ページを御覧ください。様々な性について取り上げており、体の性と心の性、好きになる性などについて説明をするとともに、「LGBT」という言葉も、紹介されております。また、3、4年20、21ページを御覧ください。SDGsと関連がある学習内容については、マークを掲載してわかるように工夫されております。表記・表現については、5、6年10、11ページを御覧ください。1時間の学習が見開き1ページに収まるデザインで構成されており、児童が学習しやすいレイアウトとなっております。また、2ページを御覧ください。「折り込みカード」がついており、学習内容や資料を意図的に隠すことで、児童が期待感をもって意欲的に学習に取り組むことができるように工夫されております。

次に、大修館書店について御説明いたします。内容については、3、4年9ページを御覧ください。各章冒頭には各界で活躍する著名人のインタビューが掲載されております。インタビューを読む中で、学習課題への興味を深め、学習意欲を高められるような構成になっております。また、3、4年39ページを御覧ください。「体育の窓」として、具体的な運動の例を紹介しており、運動と健康との具体的な関連について、考えをもてるように工夫されております。資料については、5、6年41ページを御覧ください。ASUKAモデルの紹介と、救命のフローチャート、ASUKAモデルの授業に取り組む本市児童の様子等が掲載されております。また、5、6年73ページを御覧ください。SDGsの17の目標が示され、保健の学習内容とも関連付けられております。表記・表現については、5、6年42、43ページを御覧ください。A4変型判の判型を生かし、記入スペースを設け、思考・判断したことを表現しやすいレイアウトとなっております。また、ページの下部には豆知識や、参考となるインターネットサイトにつながるQRコード、保健クイズ等が掲載されております。

次に、文教社について御説明いたします。内容については、3、4年4ページを御覧ください。毎時間、学習の初めに「学習のめあて」と「本時のMenu」が明示されており、児童が見通しをもって学習に取り組む、知識・技能を習得できるような工夫がされております。また、3、4年19ページを御覧ください。各章の最後には「あなたの〇〇宣言」を記述するようになっており、今後の目標を立て、思考し判断したことを実生活につなげていくことができるように工夫されております。資料については、3、4年31ページを御覧ください。性別に関わらず、得意な運動を伸ばしたり、好みに合った服装を選んだり、個性を尊重することの大切さについて掲載されております。

また、5、6年42、43ページを御覧ください。自然災害の発生時に大切な、「自助」「共助」「公助」の取組が紹介されております。表記・表現については、5、6年52、53ページを御覧ください。

「Mission」で児童に問いかけをし、「Stage」で課題を解決する活動を促す構成で統一されております。また、同じく53ページを御覧ください。「ここが大事」「ちょっとまった！」等の表記で、理解する内容が示されたり、次の学習へのヒントが示されたりしております。

次に、光文書院について御説明いたします。内容については、3、4年7ページを御覧ください。各章冒頭では、学習する内容に関わる漫画を掲載し、児童の興味を引き付けながら学習課題に自ら気付くことができるように、工夫されております。また、3、4年8ページを御覧ください。各時間の最初には必ずQRコードを掲載し、動画・資料を視聴・閲覧して知識・技能の定着を図ることができるように工夫されております。資料については、3、4年37ページを御覧ください。運動の重要性について実感することができるように、若田光一宇宙飛行士のエピソードが紹介されております。また、5、6年35ページを御覧ください。ASUKAモデルの紹介や、救命のフローチャートが掲載されております。また、QRコードからは、ASUKAモデルの動画を視聴することができるようになっております。表記・表現については、5、6年40、41ページを御覧ください。1時間の学習が見開き1ページで構成されており、「見つけよう」「話し合おう」「考えよう」「生かそう」といった学習の流れで統一されております。また、5、6年裏表紙を御覧ください。様々な頭髪や肌の色、スラックスの制服を着用した女子等、社会の多様性を反映した表現がされております。

最後に、Gakkenについて御説明いたします。内容については、3、4年8ページを御覧ください。1時間の学習が、「ふり返る」「話し合う」「学びを生かす」といった3つのピースを完成させる流れで構成されており、教科書に沿って学習を進める中で、基本的な知識・技能を身に付けることができるように工夫されております。また、3、4年6ページを御覧ください。「つなぐ」「ことば」といった様々なマークで学習内容を整理したり、キャラクターが児童に問いかけたり、まとめたりすることで、学習を促していくように工夫されております。資料については、3、4年45ページを御覧ください。「性についての心の多様性」として、体の性と心の性、好きになる性などについて説明されております。また、5、6年46、47ページを御覧ください。ASUKAモデルの紹介や、救命のフローチャート、胸骨圧迫の行い方やAEDの使い方が掲載されております。表記・表現については、5、6年50から53ページを御覧ください。1時間の学習

は4ページで構成され、写真やイラスト、資料が大きく掲載されております。「学びを生かす」の場面にはQRコードが掲載され、理解度を確認したり、ワークシートを開いて記述したりできるように工夫されております。

以上で、小学校保健の説明を終了いたします。

竹居教育長

続いて、選定委員長から報告をお願いします。

選定委員長

保健につきまして選定委員会で出された意見を報告します。資料Bの6ページを御覧ください。

教科書目録に示された6者の教科書発行者の中で、東京書籍、大修館書店、Gakkenについて意見が多く出されました。

東京書籍につきましては、ASUKAモデルに関して、桐田明日香さんの母、寿子氏の言葉が取り上げられていること、1時間の学習が4つのステップで構成されていてわかりやすいこと等がよい点として挙げられました。

大修館書店につきましては、現代的な課題に関する内容が多く取り上げられていてよい、ASUKAモデルが扱われていてよいといった意見が挙げられました。

Gakkenにつきましては、児童が考えを書きこむことができる内容が充実していてよい、ASUKAモデルについて取り上げられていてよいといった意見が挙げられました。

大日本図書につきましては、1時間の学習が見開きページで完結する内容で見やすいこと、文教社につきましては、資料の数が多く学習に広く活用できること、光文書院につきましては、ASUKAモデルについて取り上げられていることが、それぞれよい点として挙げられました。

以上でございます。

竹居教育長

続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします。

指導1課長

市立各小学校による、保健の主な調査所見について教科書目録順に申し上げます。資料Cの16ページを御覧ください。

東京書籍、学習の流れがわかりやすい。書き込む内容がわかりやすく、書き込めるスペースも大きくてよいなど。

大日本図書、学習の流れが見た目でわかりやすい。レイアウトが見やすいなど。

大修館書店、資料と記述のバランスがよい。保健と運動との関わり

がわかりやすいなど。

文教社、資料のつながりがわかりやすい。様々な場面を切り取った資料があってよいなど。

光文書院、イラストやグラフなどの資料が詳しくわかりやすい。説明が項目ごとに整理されて見やすいなど。

G a k k e n、学習の流れがわかりやすい。考えを書くスペースが大きくてよいなど。

以上でございます。

竹居教育長 それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

石田委員 あくまでも私の意見ですが、G a k k e nの「病気の予防」という欄があります。「病気の予防」は各教科書に載っていますが、私が見た感じでは、G a k k e nが一番良くまとまっているかなと思いました。

大谷委員 性についての心の多様性ということなのですが、学習指導要領上どの教科書も取りあげるべきことになっているのですが、性についての心の多様性、いわゆる体の性と心の性、自らの認識にブレがあるという、それはそれとして自分らしくという、こういった指導が定められているのかということについてお尋ねしたい。それぞれの教科書に記されていることなのかということもあわせてお願いします。

調査専門員長 体の変化、男性、女性についてはお話のありましたとおり、全者で採用しております。多様な性についても全者で取り上げられておりますが、特に大修館書店以外では詳しく取り上げられております。

大谷委員 もう一つ、L G B Tという言葉が使われていると専門員長からお話がありました。この言葉は全ての教科書で使われているのでしょうか。

調査専門員長 L G B Tという単語を押さえているのは、大日本図書のみでございます。

竹居教育長 私からも質問でございますが、体育活動時等における事故対応テキストであるA S U K Aモデルについて記載しているのが6者中4者とのことですけれども、調査専門員会での議論はどのようなものがございましたでしょうか。

調査専門員長 ASUKAモデルについては、東京書籍、大修館書店、光文書院、Gakkenで取り扱っております。桐田寿子さんのインタビューがあるのは、東京書籍のみです。ASUKAモデルの動画については、光文書院のみで取り扱っております。

竹居教育長 ASUKAモデルの一番重要なところは、迷ったらどうするかというところなのではけれども、それがきちんと出ているのが東京書籍であると考えますが、他者についても、迷ったらどうするかについて書いてありますでしょうか。

調査専門員長 東京書籍については、普段通りの呼吸をしているか判断に迷う場合にも胸骨圧迫という内容で記載されております。大修館書店については、判断に迷うときも胸骨圧迫と明記されております。光文書院につきましては、呼吸の有無がわからないときは胸骨圧迫と記載されております。Gakkenにつきましては、AEDの使用というところで詳しく掲載されております。

武川委員 東京書籍の3・4年38ページの「性と自分らしさ」、先ほどからお話になっているところですが、このイラスト付きの4つ、体の性、心の性、好きになる性、表現したい性が、イラスト付きでとてもわかりやすいと思います。他者は文章で書いていて、文章だと同じようなイメージで捉えてしまうのですが、こんなに違うのだと思えるイラストで良かったと思いました。

それと、他の教科書でもあると思いますが、3・4年3ページ、「わたしたちと一緒に学習しましょう」のところで、ダイバーシティのいろいろな人が一緒にいて、それがあたり前だという風に押しつけがましくなく入っているのもすごくよいと思いました。

大谷委員 東京書籍の表紙、様々な子どもたちが描かれているのは大変好ましいことだと思います。子どもたちの中には、小学生の段階で自己認識と体の性とのギャップを感じている子がいるのではないかと思うのですね。そうした子どもたちへは是非丁寧な御指導をお願いしたいと思います。そうした意味で、図を用いた指導は比較的わかりやすく、伝わりやすいと思いますので、東京書籍がよいのではないかと思います。

竹居教育長 他に、御意見がなければ、これで協議は終了にいたしまして、採決に移りたいと思います。ただいまの委員の皆様の御意見では、性についての心の多様性、社会の多様性を反映させるという点において、イ

ラストにより視覚的に工夫されているところが優れている、として東京書籍株式会社を推す意見でございましたので、東京書籍株式会社を採択するということが御異議はありませんか。

各委員 <異議なし>

竹居教育長 それでは、保健は、東京書籍株式会社を採択することとします。

英語

竹居教育長 続きまして、英語の教科書について協議検討を行います。調査専門員長からの調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長 小学校英語の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された6種16点すべてについて調査研究をいたしました。

それでは、教科書目録順に御説明いたします。はじめに、東京書籍です。内容については、6年37ページを御覧ください。児童の考えや思いを深めたり、広げたりするための思考ツールやメモ等、書き込みスペースが充実しております。また、活動へのヒントが、吹き出しなどでわかりやすく示されております。目標達成に向けて、学習活動がスパイラルにバランスよく配置され、児童が自主的・自律的に学習が進められるよう構成されております。資料については、別冊「Picture Dictionary」をお開きください。調べたい言葉がカテゴリー一別に絵と単語で示されております。また、QRコードを活用すると、さらに多くの英単語が調べられるようになっております。42、43ページを御覧ください。「Can Doの樹」が掲載されており、身に付けた知識及び技能を一目で確認できるようになっております。表記・表現については、5年16、17ページを御覧ください。モデルとなる文字が左利きの児童にも見やすいように配慮されております。英語・日本語ともに、ユニバーサルデザイン書体が使用されております。

次に、開隆堂出版について御説明いたします。内容については、6年59ページを御覧ください。聞いたり、話したりと児童が音声で慣れ親しんだ表現や語彙を活用して、読む活動を行う「Story Time」が、音声から文字への橋渡しとして設定されております。6年80ページを御覧ください。年3回「Let's Check」があり、学習した表現の定着度を確かめることができるようになっております。資料については、別冊「Word Book⑥」をお開きください。単語や語句などの言語材料がカテゴリー一別にまとめられております。また、QRコードを活用し、イラストをタップすると、一つ一つの単語ごとに音声の確認ができる

ように作られております。表記・表現については、5年17ページを御覧ください。英語は、独自に開発された手書き書体を使用されており、日本語には、ユニバーサルデザイン書体を使用しております。

次に、三省堂について御説明いたします。内容については、5年88、89ページを御覧ください。1時間分の学習が、見開き1ページで示されております。前半で「聞く」「話す」活動に慣れ親しみ、その後、「読む」「書く」活動を通して、音声から文字へ、学習を円滑に接続できるよう構成されております。各学年、3つの大きなUnit(大単元)から構成されており、各大単元は「HOP」「STEP」「JUMP」の小単元で構成されております。資料については別冊「My Dictionary」をお開きください。学習で活用する単語や会話を続けるための工夫、教室で使う英語など、実践的な表現が1冊にまとめられております。また、QRコードを活用することで、一つ一つの表現を確認できる装丁になっております。表記・表現については、6年53ページを御覧ください。英語には専用手書きフォントが、日本語にはユニバーサルデザイン書体を使用しております。

次に、教育出版について御説明いたします。内容については、5年82、83ページを御覧ください。前時までに映像や音声で慣れ親しんだ表現を用いて、実際にロールプレイを行う活動が示されております。各単元が、映像を見て概要を捉え、聞いて慣れ親しむインプットの活動から、自分の考えや思いを伝えるアウトプットの活動へ、つながるよう構成されております。資料については、6年56、57ページの「名所・名物マップ」を御覧ください。イラストだけでなく、代表的な名所の写真が多用されており、表現意欲を高める資料となっております。また、6年巻末には「My Book」が付属しており、学習内容を蓄積して、オリジナルの本を作成することができるようになっております。表記・表現については、6年39ページを御覧ください。英語、日本語ともにユニバーサルデザインフォントが使用されております。

次に、光村図書出版について御説明いたします。まず、内容についてです。6年28、29ページを御覧ください。単元終末の「Jump!」では、慣れ親しんだ語彙や表現を聞く活動や、映像を視聴し、考え方や表現の方法を広げる活動を行い、最後には自分の考えや思いを伝え合う活動が設定されております。各単元の目標達成に向けて、言語活動を行う目的が明確に示され、「Hop!」「Step1・2」「Jump!」の3部で構成されております。次に資料についてです。巻末には、学びの足跡を残せる「All About Me」、及び別冊として学年ごとに語彙をまとめた「Picture Dictionary」などが備えられております。5年64ページを御覧ください。「Let's watch and think」では、QRコードを

活用すると、世界の12か国の小学生が実写映像で登場し、各国の文化に対する理解を深められるようになっております。表記・表現については、5年93ページを御覧ください。英語はオリジナル書体が、日本語のフォントやカラーは、ユニバーサルデザインが用いられております。4線は第2線と第3線の間隔が広めになっております。

最後に、新興出版社啓林館について御説明いたします。内容については、5年88から90ページを御覧ください。各単元の最初に「Introduction」と「Watch the Scene」があり、絵や写真を見て場面を推測させたり、これからの活動への意欲を高めたりできるよう工夫されております。各単元が「とびら」、「Step1～Step3」で構成され、「Step1・2」で語句や表現を身に付け、「Step3」ではコミュニケーションを楽しむ構成になっております。資料については、5年44、45ページを御覧ください。異文化を紹介する「Did you know?」では、単元で扱う内容に関連する補足情報を紹介し、外国の文化や生活を理解する態度を育てる工夫がされております。6年55ページ中段を御覧ください。こちらのQRコードを活用すると、話すためのヒントとなる「英文Maker」を使用することができ、児童の主体的な学びを促す工夫がされております。表記・表現については、6年41ページを御覧ください。フォントやカラーは、他者と同様、ユニバーサルデザインが用いられる配慮がなされております。

以上で、小学校英語の説明を終了いたします。

竹居教育長

続いて、選定委員長から報告をお願いします。

選定委員長

英語につきまして選定委員会で出された意見を報告します。資料Bの6ページを御覧ください。

教科書目録に示された6者の教科書発行者の中で、東京書籍、新興出版社啓林館について意見が多く出されました。

東京書籍につきましては、外国だけでなく、日本に関する内容についても多く触れられていること、学習者用デジタル教科書で、登場人物と模擬会話ができることがよい点として挙げられました。

新興出版社啓林館につきましては、ワードリストやピクチャーカード等の巻末資料が、授業で活用しやすいように工夫されていること、学習の見通しをもつことができる構成になっていること等がよい点として挙げられました。

開隆堂出版につきましては、学習のまとめとして設定されている「Let's Check」が、学習の定着度を子ども自身が判断できること、三省堂につきましては、単元はじめのパノラマページで、学習の見通しをもちやすくする工夫や学習内容に興味をもたせる工夫がされて

いること、教育出版につきましては、各レッスンにおける動画や音声を用いたアクティビティが充実していること、光村図書出版につきましては、「Hop!」「Step 1」「Step 2」「Jump!」の学習過程がメリハリのある構成になっていることが、それぞれよい点として挙げられました。

以上でございます。

竹居教育長 続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします。

指導 1 課長 市立各小学校による、英語の主な調査所見について教科書目録順に申し上げます。資料 C の 17 ページを御覧ください。

東京書籍、単語ブックが付いていてわかりやすい。書き込みができるページが多くてよいなど。

開隆堂出版、Word book が別冊になっていてよい。絵や図が見やすいなど。

三省堂、別冊の辞書があり、自分で単語を調べやすい。イラストが親しみやすいなど。

教育出版、アルファベットカード等、付属教材が充実していてよい。世界の名所や名物が記載されていてよいなど。

光村図書出版、実物写真が多く、視覚的にわかりやすい。児童が言いたくなる例や語彙があって活動しやすいなど。

新興出版社啓林館、イラストが親しみやすい。デジタル教材が多く、調べ学習を進めやすいなど。

以上でございます。

竹居教育長 それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

石田委員 教育出版と新興出版社啓林館だけ別冊がなく、巻末に **Word List** というものがあります。別冊にする、しないといった意義はあるのでしょうか。

調査専門員長 別冊等の辞典につきましては、巻末にも各者備えてあります。別冊にすることの意義としましては、児童が単語や英文を書く際、教科書のページを行き来することなく、モデルとなる紙面を見ながら書き写すことができるという良さがございます。また、言いたい、書きたい英語を忘れてしまった場合でも、索引から該当の言葉を検索しやすいという点が挙げられます。

石田委員 現在は小学校で別冊を使っていないと思いますが、その点は問題ないでしょうか。

調査専門員長 現在は別冊を使っておりませんが、ない状態でも成立しております。

石田委員 実際、教科書の巻末に載っていますし、昔はカードを使っていましたが今はデジタル教科書になってすぐに出てくるので、問題ないと思います。

武川委員 デジタルコンテンツの話が出ましたけれど、やはりQRコードから読み込んでというのは、英語の場合は特に重要なかなと思います。生の英語がいつでも聞けるという意味ですごくよいと思います。ただ、今はどの小学校にも外国からの先生がいらっしゃると思いますので、実写映像で外国の方々の会話を出す必要はないのかなとも感じました。
あと、新興出版社啓林館ですが、内容が際立っており面白いと思いました。学校の調査所見でも、学習の流れが統一されていてよいとの説明がありましたが、通り一遍のことではなく、対世界ということいろいろなものが進んでいくというのは、すごく夢があってよいと感じました。

大谷委員 学習しながら外国との関わりというもの、子どもたちに外国へ目を開かせる、興味関心を持たせていくということは大事な学習の一つの目標になると思います。そのような観点からすると、異文化紹介等に力を入れている新興出版社啓林館がよいのではないかと思います。さらに、コミュニケーションの道を開くという意味でも、やはり新興出版社啓林館が良くできていると思います。

石田委員 英語を使う場面という道聞かれることが多いと思います。道案内についてみると、新興出版社啓林館5年生84ページにわかりやすく載っています。また、**Welcome to Japan** ということで新興出版社啓林館にあります。6年生24ページ、日本の魅力を伝えようということで、よく見ると盆栽が載っております。外国人への案内という意味では、新興出版社啓林館がナンバーワンだと思います。

竹居教育長 G・Sの先駆けになる「小・中一貫『潤いの時間』英会話」を立ち上げたときから今のG・Sに至るまで、コミュニケーションを重要視しているのがさいたま市だと思います。当時からコミュニケーションに重要なのはシャワーのように言葉を浴びることや場面設定だと思

っていて、日本人もそうですが、幼児が大人の言葉をたくさん浴びてしゃべるようになるように、小学校段階ではたくさん言葉を浴びることが重要だと思いますので、そういった点では新興出版社啓林館がよいと思います。

もう一つ重要なのが場面設定だと思っていて、**Do you have a pen? Yes I do.**というのは繰り返しても全く使える英語にはならない。やはり場面設定の中で誰かがスマホを持ちながら、ノートを持ちながらうろうろして、**Do you have a pen?**と言えば、この人はペンを探しているのだなと、そこで初めてフレーズがいきってくるのだと思います。その点、この新興出版社啓林館の教科書の構成・使い方というのが5年生2ページにありますけれども、言葉を使う場面に出会おうという、もう、教科書の構成の中に場面をすごく重視しているような部分が含まれているというのはすごく貴重だと思った次第です。コミュニケーションを図るところでは、この場面設定というのは重要だと感じていますので、新興出版社啓林館は優れていると私は思っております。

竹居教育長

他に、御意見がなければ、これで協議は終了にいたしまして、採決に移りたいと思います。ただいまの委員の皆様のご意見では、一つは読書内容が充実しているという点、異文化教材が充実している点、コミュニケーションを図る教材が充実している点、構成がしっかりしている点、このような点から優れているとの御意見がありましたので、株式会社新興出版社啓林館を採択するというご意見はありませんか。

各委員

<異議なし>

竹居教育長

それでは、英語は、株式会社新興出版社啓林館を採択することとします。

道徳

竹居教育長

続きまして、道徳の教科書について協議検討を行います。
調査専門員長からの調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長

道徳の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された、6種42点すべてについて調査研究をいたしました。

それでは、教科書目録順に御説明いたします。まず、東京書籍です。内容については、4年の6ページを御覧ください。巻頭の「どんな学びをするのかな？」で道徳の学習の流れを示すとともに、「ち

よっと話し合ってみよう」では、自分と重ねて考えたり、友だちの考えと比べながら考えたりするために活用できる話型を紹介し、話し合い活動の充実が図られるように工夫されています。4年の22ページを御覧ください。各教材の冒頭に主題が、末尾に発問が2つ掲載されています。発問は、主に「ねらいに向かうための教材文からの問いかけ」と、「学びを生活に結び付ける問いかけ」に絞られ、児童の実態に合わせて、柔軟な展開ができるように工夫されています。また、4年の56ページを御覧ください。重点の一つである「情報モラル」については、コラムに加えてQRコードで読み取れる「動画で学ぼう」が全ての学年に付いており、具体的に理解が進むように工夫されています。資料については、QRコードが全ての教材に付いています。教材名の下部にあるQRコードを読み取ると、朗読、紙芝居、デジタルノート、動画資料等が掲載されています。表記・表現については、ユニバーサルデザインフォントの教科書体が使用されています。

次に、教育出版です。内容については、3年の4ページを御覧ください。自分の生き方について考えを深める学習を進める流れが説明されているとともに、「話し合って考える」「書いて考える」「演じて考える」など、道徳の時間の学び方が丁寧に説明されています。また、3年の11ページを御覧ください。教材の最後に教材文からの問いかけ、自分のこととして考えを深める問いかけ、発展的な学習に活用できる問いかけなど、多様な視点からねらいについて見つめ考えられるように工夫されています。さらに、「自己評価欄」が設けられ、自ら学びを振り返ることができるように工夫されています。3年の64ページを御覧ください。このように体験を通してよりよい行動について考えを深める教材が全学年に配置されています。資料については、3年133ページを御覧ください。SDGsについて正面から取り上げた教材が3年生以上に配置されるとともに巻末の「学習内容一覧」にSDGsと関連のある教材がわかりやすく示されています。表記・表現については、当該学年の漢字や固有名詞などを対象に、登場するたびにくり返しフリガナを付すなどの配慮がされています。

次に、光村図書です。内容については、3年の6ページを御覧ください。巻頭の「道徳がはじまるよ」の流れにおいて「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」が示され、実際にこつを使って話し合いができるように工夫されています。そして、3年の72ページを御覧ください。年度の途中には「考える準備体操」を配置するなど、話し合い活動が充実するよう、対話の力をはぐくむ流れを教科書の中に組み込んでいます。3年の10ページを御覧ください。3年

生以上では最初の教材の下部に、「道徳の学び方」として、教材や自分と対話しながら学習を進める流れが示され、児童が道徳の学びに主体的に取り組めるように工夫されています。資料については、3年の172ページを御覧ください。3年生以上に「学びの道具箱」があり、授業で活用できるツールが掲載され、自分の考えを整理したり友だちと話し合ったりできるように工夫されています。表記・表現については、話合いの柱になりそうな場面に挿絵や写真が適切に配置されています。漫画形式、見開きの一枚絵などから考える教材が位置付けられています。

次に、日本文教出版です。内容については、6年の目次を御覧ください。「人とのかかわり」「情報モラル」など、重点化を図った内容について、2つから3つの教材とコラムでユニットを組んでじっくりと学習を進められるように工夫されています。6年146ページから149ページを御覧ください。「ぐっと深める」では問題解決的な学習や体験的な学習が進められるように工夫されています。また、「心のベンチ」では、ねらいに関わって、他の学習とつなげたり、普段の生活に広げたりできるように工夫されています。ここでは、いじめ防止対策推進法や、子どものSOSの相談窓口も紹介されています。資料については、別冊ノートがあります。ノートは絵日記のような枠になっていて発問等はなく、指導者の意図によって自由に使えるように工夫されています。学期などのまとまりで「お家の人から」の欄があり、家庭と連携を図ることもできるように工夫されています。表記・表現については、教材名の近くに、主題名、キャラクターによる問いかけ、登場人物、あらすじ等、様々な情報がまとめて書かれており、教材理解を助ける工夫がされています。

次に、光文書院です。内容については、3年4ページを御覧ください。巻頭の「道徳の時間はこんな時間です」では、学習の時間の流れを詳しく示すとともに、考えを深めたり整理したりするための様々な方法が紹介され、自己の生き方について主体的に考えを深められるように工夫されています。3年69ページを御覧ください。現代的課題の一つに「へこんでも立ち直る力」を取り上げ、すべての学年で教材とコラムが設定されています。3年103ページを御覧ください。重点的に考えさせたいテーマについては扉ページがあり、その後テーマに関連のある教材がまとめて掲載され多面的に深く考えることができるように工夫されています。資料については、3年156、157ページを御覧ください。全ての学年に、「みんなでつくる わたしたちの未来」という、SDGsに関連した見開きのページがあります。関連のある教材が紹介されたり、考えさせた

いテーマについての問いかけがされたりしています。表記・表現については、児童になじみのない言葉については脚注が設けられ説明されています。教材名の近くにはキャラクターによる問いかけが書いてあり、何について考えればよいかヒントになっています。

最後に、G a k k e nです。内容については、4年10ページを御覧ください。教材名の近くには、キーフレーズのみが書かれており、教材末尾の発問も2つに絞ることにより、児童の課題意識を大切にしたい展開ができるように工夫されています。4年の13ページを御覧ください。各学年に3つから4つの「深めよう」のページがあります。ここでは教材文を用いた問題解決的な学習や思考ツールを活用した学習など、道徳の学び方を提案する内容となっています。また、4年の150から153ページを御覧ください。情報モラルについては、教材とコラムで1年生から系統立てて学べるように工夫されているとともに、身近な例が挙げられ、実践に繋がるように工夫されています。資料については、4年の2、3ページ及び4、5ページを御覧ください。11の現代的な課題についてマークが作成され、目次や各教材の教材名の下部に配置することで関連がわかるように工夫されています。表記・表現については、教材名が「自分のこと」「人とのかかわり」「社会とのかかわり」「命や自然とのかかわり」という、自分を見つめる4つの視点により色分けされて示され、考える手がかりとなっています。

以上で、小学校道徳の説明を終了いたします。

竹居教育長

続いて、選定委員長から報告をお願いします。

選定委員長

道徳につきまして選定委員会で出された意見を報告します。資料Bの7ページを御覧ください。

教科書目録に示された6者の教科書発行者の中で、教育出版、日本文教出版について意見が多く出されました。

教育出版につきましては、「考えよう」「深めよう」「つなげよう」といった学習の流れが、児童が考えを深められる手立てとなっていること、3年以上の巻末にSDGsと関連のある教材についてわかりやすく示されていること等がよい点として挙げられました。

日本文教出版につきましては、道徳ノートがあること、読み物教材だけでなくコラム「心のベンチ」があることで、より広く深く考えられるように工夫されていること等がよい点として挙げられました。

東京書籍につきましては、QRコードが豊富に掲載されており、ICTの活用が意識されていること、光村図書出版につきましては、話し合いに重点が置かれた構成になっていること、光文書院につきましては

は、全ての学年においてSDGsに関連した見開きページがあること、Gakkenにつきましては、写真が多く、親近感が湧く構成になっていることが、それぞれよい点として挙げられました。

以上でございます。

竹居教育長

続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします。

指導1課長

市立各小学校による、道徳の主な調査所見について教科書目録順に申し上げます。資料Cの19ページを御覧ください。

東京書籍、QRコードから紙芝居やデジタルノートを使えてよい。絵がやさしく、児童が教材に入り込みやすいなど。

教育出版、挿絵の色合いが落ち着いていて見やすい。デジタルコンテンツが充実していてよいなど。

光村図書出版、考える視点がはっきりしていてわかりやすい。場面絵が豊富で、イメージや心情を捉えやすいなど。

20ページを御覧ください。

日本文教出版、記入式の道徳ノートが特徴的でよい。絵や写真が多く使われていてよいなど。

光文書院、題材が多く、バリエーションのある授業ができてよい。学習の流れがわかりやすいなど。

Gakken、発問が精選されていてよい。最近の話題が入っていて、児童の興味・関心を惹きやすいなど。

以上でございます。

竹居教育長

それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

武川委員

人に迷惑をかけないとか、人のためにこういうことができるというのも大事なことなのですが、自分が生きていくためにはどのようなことを大事にしたらいいのかという方向により進んでいくと、教科書を見ていて安心できるのではないかと感じました。全体的にはまだまだ道徳という言葉に引っ張られてしまっているなど。子どもが生きること自体が嫌にならないということが一番の基本ですので、そのための授業、教科書だとよいなと思います。比較的近い形で作られているのが教育出版でした。

大谷委員

道徳というのは、説教じみたことをするのは全く意味をなさないのではと私は思っています。まず指導者の生き方・在り方。指導者がどう子どもたちに接し、どう子どもたちのことを考えて教育指導にあた

るか。家庭で言えば保護者の在り方、つまり親の背中を見て育つというのは昔から言われていることですが、教師の背中、親の背中を見て、そして自分で考えるということですね。そういった意味で、まず考えようということを教育出版が提起してくれていて、深めよう、つなげようという、私のこうした考え方にある意味近いのは教育出版だと思います。また、全ての単元の頭に「学びリンクを活用しよう」というものがあり、タブレット活用に直結してくる点も意義があると思います。

石田委員

今回、池江璃花子さんがいくつかの教科書に載っています。あと渋沢栄一さんも。でも、私が一番心を打たれたのは日本文教出版の6年の文書構成にある新型コロナウイルスをめぐる話、それから4年の30ページに私の尊敬する日野原重明先生が載っています。それと、教育出版6年の47ページ、「個人の権利って？～権利を守る大切さ～」、4年の104ページ、「〇〇のせい～相手と向かい合って～」、5番のジェンダー平等を実現しようというのもしっかりとここに載っております。

竹居教育長

池江璃花子さんと渋沢栄一さんが載っている教科書会社はどちらでしょうか。

調査専門員長

池江璃花子さんを扱っているのは3者でございます。東京書籍4年生35番の資料、教育出版4年生の最初の資料、光文書院5年生の最初の資料ということで3者扱っております。

渋沢栄一さんについては、教育出版5年生の教材で「公益のために生きる」ということで正面から取り上げた教材がつづられています。それから、G a k k e nではコラムとして渋沢栄一さんを取り上げております。

竹居教育長

他に、御意見がなければ、これで協議は終了にいたしまして、採決に移りたいと思います。ただいまの委員の皆様の御意見では、自己の生き方について児童の考えを深める構成になっているという点が強調されていた、タブレットの活用についても特徴的ではないかという点、このような点から優れているとの御意見がありましたので、教育出版株式会社を採択するという点で御異議はありませんか。

各委員

<異議なし>

竹居教育長

それでは、道徳は、教育出版株式会社を採択することとします。

竹居教育長 それでは、13種の教科書の採択結果について確認をお願いいたします。

指導1課長 それでは、13種の教科書の採択結果について御報告いたします。
国語、教育出版。書写、教育出版。社会、教育出版。地図、帝国書院。算数、東京書籍。理科、東京書籍。生活、東京書籍。音楽、教育出版。図画工作、開隆堂出版。家庭、開隆堂出版。保健、東京書籍。英語、新興出版社啓林館。道徳、教育出版。以上でございます。

竹居教育長 ただいま、指導1課長から、13種目の教科書の採択結果が確認されました。この件について、何か御質問はありますか。

 それでは、議案第67号につきましては、ただいま確認したとおり採択いたします。

 以上をもちまして、本日の教育委員会会議の議事を終了いたします。

 これにて、教育委員会会議を閉会いたします。

8 閉 会 午後3時48分